

四庫全書本『説文解字繫傳』に見える小篆異体字

鈴木 俊哉

広島大学大学院総合科学研究科

Investigation of the Seal Variants Specific to Siku Quanshu Version of Shuowen Jiezi Xizhuan

Toshiya SUZUKI

Graduate School of Integrated Arts and Sciences, Hiroshima University

Abstract

“Shuowen Jiezi Xizhuan” (説文解字繫傳, SWJZ-XZ) by Xu Kai (徐鍇) is regarded as the most important source material for research on the situation of Shuowen Jiezi before the Sung dynasty. The currently available versions of SWJZ-XZ are based on manual transcriptions produced during the Qing dynasty and their Small Seal (小篆) representative glyphs have recognizable differences. Among them, Wang Qishu’s reprint (汪啓淑本, WQS) and the Siku Quanshu version (四庫全書本, 4QKS) are often mentioned as related, but recently Dong Jing Chen (董靖宸) proposed the new hypothesis that 4QKS was not the source of WQS. In this study, the Small Seal representative glyphs of 4QKS are compared with other versions of SWJZ-XZ and found to be unique. Additionally, side-by-side comparison of the glyphs of SWJZ-XZ with different versions by Xu Xuan (徐鉉) confirms that the differences in SWJZ-XZ glyphs are not accidental but intentional.

1 はじめに

『説文解字』[1](以下、説文¹)は後漢の西暦100年ごろに許慎が編んだ中国の最初の部首引き字書であり、字形の由来を説明するために小篆を用いた。説文が編まれた段階で小篆は既に一般の書写に用いるものではなくなっていたけれども、後代の様々な字書に引かれ、また正字政策の材料として用いられたため、その影響力は現代にも及ぶ。最近では説文小篆を現代漢字と別に国際標準文字符号に取り入れようという動きすらある[2]。

しかし、今日参照可能な説文は北宋初期の986

年に徐鉉(916～991)が勅命によって校訂したもの(いわゆる大徐本説文解字。以下、大徐本)で、それ以前の説文の状況は断片的にしかわからないという問題がある。国際標準文字符号化においても、まず対象となったのはこの大徐本の小篆である。

一方、徐鉉の弟である徐鍇(921～975)が南唐末に編んだ『説文解字繫傳』(いわゆる小徐本説文解字、以下、小徐本または『繫傳』)[3]は、大徐本に比べ、それ以前の説文の様相を多く残していると考えられており[4][5][6]、重要な文献である。説文小篆の国際標準文字符号化においても当初は検討対象として挙がっており[2]、大徐本の

次には検討対象となることが推測される。

しかし、現行の『繫傳』の写本・版本²は全て宋代の張次立の校訂や、欠落を補うために大徐本から持ち込まれたと思われるものが混じっており、そのまま大徐本成立以前の資料としては使えない。この現状から、どのようにして宋代の改変を受けていない小徐原本³に近づくかが大きな課題として残っている。

1.1 小徐原本に関する先行研究

小徐原本を推定する伝統的な手法として、段玉裁が提案した『古今韻会挙要』（以下、『韻会』）に引かれる小徐本を用いるという手法がある。『韻会』が引く説文は小徐本と見られるけれども、その内容は現行本とは異なる。さらに、現行小徐本では欠落している部分の文字についても大徐本とは異なるものが引かれる。段氏はこの特徴から、『韻会』が引く小徐本は、欠落がなく、張次立校訂も受けていなかったとするのである[8][9]。この提案は非常に影響が大きく、清代の説文校勘学で広く使われた。

この手法に対しては坂内千里氏の指摘がある[10]。『韻会』が大徐本を引く箇所では必ずしも忠実に引いておらず、『韻会』に見えるものが現行本と違うからと言って「そのような説解を持つ小徐本が存在した」と判断するのは危険だという指摘である。

他の文献に引かれる小徐本によらず、現行小徐本と大徐本との綿密な比較によって、小徐原本の姿、あるいは、張次立校訂の範囲を明らかにしようという研究は、坂内氏[11]や白石將人氏[12]によって進められている。坂内氏は、大徐本・小徐本の説解の比較から、現行小徐本の正文⁴のうち111字が大徐本から持ち込まれた可能性があること、またさらに、徐鍇が書き起こした「疑義篇」の分析から、小徐原本に含まれていたと思われる文字が大徐本では新附字となっている事例などを見出した。

一方、白石氏は、張次立以降の校訂プロセスについて検討した。張次立の案語や、見出し字の追加位置の傾向を分析した結果、現行の小徐本への大徐本の取り込み方が、①張次立による追補が明記されているもの、②誰の追補か明記されていないが張次立の①と同じ方法で追補しているもの、

③張次立とは方法が異なるもの、の3種類あることを見出した。このことから、張次立の校訂は大徐本に沿う形では行われているけれども、現在の小徐本に至るまでにはそれ以降にも大徐本を用いた改変(③)が加わっており、現行小徐本に見える全ての大徐本的要素を張次立に帰することはできないことを明らかにした。さらに、張次立と同じ手法で改変されているもの(②)は、張次立が校訂したという情報が部末から脱落した可能性があることも指摘する。

白石氏のもう一つの重要な指摘は、現行本の跋文を書いている蘇頌の事跡を追跡すると、張次立の校訂は蘇頌が監督していた古籍校訂作業の一環として行われた可能性が高く、その時点で巻25および巻30が欠けたままであったことから、張次立は巻25を補ったことはないという点である。

1.2 小徐原本の小篆復元に関する研究

前節のようにテキスト分析による小徐原本および張次立校訂に関する研究が進展しているけれども、説解から決定しきれない小篆字形に関しては限界がある。これを復元する方法として、糸原敏章氏により提案された『説文解字篆韻譜』（以下、『篆韻譜』）を用いる方法がある[13]。『篆韻譜』は徐鉉が徐鍇に編ませたもので、説文の文字学的な情報を大幅に削り、小篆の字形のみを簡易に確認できるようにしたものである。これは張次立の校訂を受けていないと考えられるので、この見出し字から小徐原本の小篆を推定できるというものである。『篆韻譜』には、四声相配していない古い韻目を用いる10巻本と、四声相配がされている新しい韻目を用いる5巻本の2つの系列があることが知られる[14][15]。工藤早恵氏は、10巻本では大徐本との類似が限定的であるため、大徐本の影響を受けていない可能性が高いことを明らかにした[16]。糸原氏はこれに基づき、『篆韻譜』10巻本、5巻本、『繫傳』述古堂本、宋刊大徐本の部首字を全て比較し、張次立が『繫傳』の小篆字形を大徐本に整合するよう改めている可能性を指摘したのである。

これを受けて、筆者は、篆韻譜10巻本・5巻本の全見出し字を静嘉堂所蔵宋刊大徐本・述古堂本・『繫傳』祁寯藻本と比較した[17][18]。その結果、

現行小徐本全体と篆韻譜10巻本の収字数の差は100字程度の規模であることが確認できた。400字近い新附字が一度入ってからほぼ全て脱落したとは考え難く、『篆韻譜』10巻本には大徐本的な要素が入っているけれども、大徐本より先に成立したという評価は妥当という結論を得た。この調査においても、糸原氏が指摘するように、述古堂本と祁寯藻本を比較すると、『篆韻譜』10巻本に近いのは述古堂本であることが確認された。

理由ははっきりしないけれども、現行小徐本では大徐本で差し替えられている巻25に関しても、述古堂本と祁寯藻本の小篆字形はしばしば異なり、『篆韻譜』10巻本が符合するのは述古堂本であった。また、それらについては、四庫全書本や『汗簡』との符合も見られた。白石氏が指摘するような、張次立以降にも大徐本から追加された可能性や、清代の『繫傳』写本には小篆を全く欠いたものもあったこと⁵を考えれば、清代まで書写を繰り返された小徐本の小篆字形にどの程度の揺らぎがあるのか、改めて確認する必要があるだろう。

1.3 本稿の目的

さて、筆者らの調査の過程で、『篆韻譜』10巻本および述古堂本の字形が符合し、かつ、大徐本や祁寯藻本と異なる場合、それが直接には参照関係がない筈の『汗簡』や四庫全書本『繫傳』にも符合する例がいくつか見られた。

それでは、四庫全書本『繫傳』も述古堂本のように小篆について古形を残す資料として考えられるだろうか。『繫傳』各版本の反切の調査[20]を行った東ヶ崎祐一氏によれば、四庫全書本は最も脱落が多く、また、「魚」の部品字形が他の版本と異なっている特徴がある⁶。四庫全書本の小篆字形がどの版本とも異なる場合も少なくない。この、四庫全書本特有の字形は古形を残すのか、あるいは、四庫全書編纂における改変なのか、を明らかにするのが本稿の目的である。

2 四庫全書本の書誌学的問題と調査方法

2.1 四庫全書本と汪啓淑本の関係

小徐本の研究において、四庫全書本がよく言及

される特長として、汪啓淑本との関係がある。汪啓淑本は、汪氏自身による跋に「聖朝文治光昭館開四庫，淑得與諸賢士大夫游獲見繫傳稿本。愛而欲廣其傳因合舊鈔數本校録付梓，其相沿傳寫既久無善本可稽，不敢以臆改也。」とある。これを受けて、朱文藻は『重刊繫傳考異』の跋の「錢塘汪戸曹詡庵、從全書館録出繫傳、而以附録一卷附於後、其考異則不附焉」と書く。四庫全書本の稿本から汪啓淑本が作られたという解釈である。近年でも、楊洪升氏は上述の跋から「汪氏所謂獲見之“稿本”、當即館中校定之《四庫》底稿本」と導く[21]。日本では倉石武二郎の「清朝小学夜話」で「…汪啓淑が四庫の中の繫伝の稿本を見て…」と解説し、また『説文入門』も「…紀昀の家蔵本が四庫館に入った。その四庫本を汪啓淑が乾隆47年(1782)に刊行しました。」と解説する。日中を問わず、広く受容された解釈と言えらるだろう。この解釈で汪啓淑本と四庫全書本の異同の多さを説明しようとするれば、汪啓淑が大規模な校訂を加えたか、あるいは、四庫全書編纂時の改変または誤写といった説明が考えられるけれども、前者は「不敢以臆改也」の跋とは整合しづらく、後者の可能性が高くなる。また、「稿本」が四庫全書本を書写するための稿本だとすれば後者の中でも誤写の可能性が高くなる。

しかし、ごく最近になって董婧宸氏より興味深い指摘が出された[22]。汪啓淑本の底本を四庫全書本の稿本とする解釈は誤りで、稿本の出所は「諸賢士大夫」と読むべきだという説である。たしかに、汪啓淑は多数の蔵書を四庫に進呈した功績があり⁷、諸賢士大夫の手引きが無ければ、四庫館所蔵の文献を読むことができなかつたとは考え難い。「淑得與諸賢士大夫游」とわざわざ書いているのは、四庫館で接触を持った諸賢士大夫が持っていた稿本とする解釈にも合理性がある⁸。もしこの解釈が正しければ、四庫全書本と汪啓淑本の底本の時点で分岐済みであり、異同があるのは自然である。

董婧宸氏は汪啓淑本と、清代の様々な抄本の対比によって汪啓淑本の小篆字形の由来についても議論しているけれども、四庫全書本は検討の対象から外れている。そのため、四庫全書本と汪啓淑本の

脱落箇所がしばしば符合する理由や、四庫全書本の小篆字形の検討は別の課題として残っている⁹。

2.2 四庫全書の改変の推定について

一般論として、四庫全書で書写された漢籍は清朝の政治的な観点から改変が加わっているものがあり、仮に精緻に書写してあったとしても底本の状況を知るのに適切な資料ではないと認識されている。四庫全書本『繫傳』は紀昀家蔵本を底本とするけれども、紀昀家蔵本自体は現在伝わらないため、直接に底本からどう改変されたか調べることはできない。これに関しては、四庫全書本の大徐本は、その底本が汲古閣通行本であることに注目した。四庫全書本の大徐本と、汲古閣通行本を比較することで、四庫全書の編纂が独自の小篆規範意識を持っていたかどうかを推定できるのである。もちろん、『繫傳』を大徐本に寄せる形で加えられた改変などは検出できないけれども、『繫傳』四庫全書本に特有の字形については議論ができるだろう。

2.3 四庫全書の系統について

四庫全書は、7部が書写され、文淵閣本・文溯閣本・文津閣本の3本が現存する。このうち最も早く影印出版が行われた文淵閣本が広く流通しており、Internet Archiveで浙江大学が寄贈したデジタル画像も公開されている[23]。また、四庫全書の編纂に先立ち、特に重要な文献のみ(『繫傳』は含まれていない)を先行して書写した四庫全書薈要は2部が書写され、摘藻堂本が現存する。これも浙江大学が寄贈したデジタル画像がInternet Archiveで公開されている。

これらの違いについて、文淵閣本が最初に書写されたものであるのに対し、文津閣本は乾隆帝および紀昀による再校正を経ているため、文津閣本が最も完成度が高い、とする説がある[24]。しかしながら巻前提要の日付を確認すると文淵閣本のほうが後に書写されたと思われる場合も見つかっており[25]、一概には言えない複雑さを持っている¹⁰。さて、四庫全書に含まれる小学書、特に字書類に関する校訂は非常に少なく¹¹、馮先思氏の大広益会玉篇に関する分析[30]がほぼ唯一と思われる。この分析では、摘藻堂本と文津閣本には、提要で批判されている澤存堂本による改変が加

わっており、文淵閣本のほうが底本に近いという結果を得ている¹²。

本稿では、第一段階の予備調査として、最初に書写された資料、すなわち大徐本については摘藻堂本、小徐本については文淵閣本を用いることとした。

2.4 大徐本について

まず、四庫全書編纂時の改変について確認するため、摘藻堂本の大徐本と、その底本である汲古閣通行本の小篆字形を全て切り出して比較する。前者はInternet Archiveがインターネット公開している摘藻堂のスキャン画像[31]、後者は京都大学がインターネット公開しているデジタル写真[32]を用いた。全ての見出し字に汲古閣通行本の出現順序に基づき、通し番号(M00001～M11115)をふる。

2.4.1 脱落について

京大所蔵汲古閣本については、巻09下の葉15に大きな破れがあり、1字(籀:M06959)が採集できていない。

Internet Archiveの摘藻堂本については、巻06下の葉02-03が『爾雅注疏』のスキャン画像に入れ替わってしまっており、小篆20字(币:M04437～牲:M04457)について採集できない。この部分については吉林人民出版社の影印本により確認した結果、小篆字形に関して汲古閣本との違いは見えなかった。

2.5 小徐本について

次に四庫全書本『繫傳』と現行の『繫傳』版本を比較するため、以下の資料から小篆を切り出して比較表を作成した。汪啓淑本は東北大所蔵本のマイクロフィルム画像(紙焼き)[33]、祁寯藻本は華文書局影印本[34]、述古堂本は四部叢刊影印本[35]、四庫全書本はInternet Archiveが提供するデジタル画像[36]を用いた。また、汲古閣本からの影響を考えるため、前述の京大所蔵の汲古閣通行本の小篆も加えた。

字形差に疑いがあるものは説解によって対応付けを確認した。ただし、以下のような制限を設けているため、字形が最も似ているものを対応づけていない場合がある。

- 小篆・古文・籀文の種別が異なる場合、字形が非常に似ていても対応づけなかったこととした。例えば現行小徐本は小篆「豊」(K02745)

に続いて、その籀文「𪛗」(K02746)を示す。一方、文淵閣本は小篆を「𪛗」で示し、その籀文を「𪛗」と示す。この場合、K02745は文淵閣本と他本で部品が対応づくが構造が異なる事例とし、一方、K02746は部品に増減がある事例として扱った。

- 古文・籀文が列挙されている場合は、その順序も同定基準に含める。現行小徐本が古文として字形A・字形B・字形Cを挙げ、文淵閣本が字形B・字形C・字形Dを挙げる場合、字形B・字形Cは対応づけ、字形Aは文淵閣本になく、字形Dは現行小徐本にない、と扱った(字形Aと字形Dを対応づけない)。

表には大徐本と同様に通し番号を振った。各本の所収字には出入りがあるけれども、現在の小徐本研究の定本である祁寯藻本により通し番号を振った(K00001～K10724)。祁寯藻本に対応づかない見出し字について、次章で詳細を整理する。

2.5.1 脱落について

東北大所蔵汪啓淑本には巻07葉15の翟:K02561～舊:K02571、また巻08葉01で華:K02761～再:K02769の合計20字が脱落しており(文献[20], p.112脚注3参照)、北京国家図書館の電子データによって確認した。これらの箇所では汪啓淑本の小篆は述古堂本にはほぼ一致する。巻08の華部において、祁寯藻本は中央の縦画が上部へ突き抜けないように描くけれども、文淵閣本・汪啓淑本・述古堂本はしばしば突き抜けている違いがある。

またInternetArchiveの文淵閣本については、以下の部分で脱落がある。

- 巻07葉29左(烏:K02755～焉:K02760)
- 巻19葉25左(叟:K07192～赫:K07203)
- 巻22葉15左(非:K08353～𠂔:K08358)

これらについては台北商務印書館の『景印文淵閣四庫全書』によって確認した。於:K02757、舛:K07193については字形差が見られたので、結果に含めて報告する¹³。

3 調査結果

3.1 大徐本での予備調査の結果

汲古閣と摘藻堂本を比較した結果を、表1に示

す。220個の違いが見つかった。主なものは、欠筆の追加(25個)、カンムリやカマエが全体を囲むか囲まないか(35個)、微細な一点一画の修正、といった違いである。大徐本・小徐本の違いに見られるような、一方が偏旁構造で、もう一方が冠脚構造になっているようなものや、その配置関係が逆転¹⁴しているような甚だしい違いは一つもない。

3.1.1 字形の正規化

汲古閣本から摘藻堂本への書写においては、強い正規化は行われていない。例えば「眞」「而」「世」「𪛗」¹⁵は汲古閣本の中で字形は統一されておらず、いくつかのバリエーションがある。摘藻堂本は、それらの大半をそのまま書き写されている。摘藻堂本でデザインを定めて正規化しているように見えるものとしては「虫」「舟」「酉」¹⁶がある。

また、「畏」についても、その下部を汲古閣本の字形から変えて「𠂔」のように作ってしまう傾向がみられるけれども、𪛗・𪛗・畏・猥・煨・𪛗・𪛗・𪛗のうち𪛗・𪛗だけはそうっていない。

3.1.2 誤字の修正

「𪛗」は説文の中では𪛗と兔を合わせて作る形が正しい。しかし、古くから、𪛗を2つ、あるいは兔を2つに作ってしまう誤りが散見される。汲古閣本においては𪛗・𪛗・𪛗がこの誤りを持つけれども、摘藻堂本は全て修正している。ただし、汲古閣本が正しく兔に作ることを「免」に誤ってしまったものも2か所見つかっている(𪛗・𪛗)。

また「尋」を含む小篆を段注本は「尋」に修正しているけれども、摘藻堂本においては尋のみをそのように修正しているだけで、𪛗・𪛗・𪛗・𪛗はそのままである。

以上より、パターン化している誤りに対する修正はあるけれども、段注本に見えるような大規模な修正は加えていないと言える。

3.1.3 個別の変更

上記以外の変更点で目立つものとしては、

- 汲古閣本の第五次修訂に際して部末に追加した文字を当該位置に移動していること。これらは文淵閣本でも同じ。
 - 巻03下「𪛗」(M02367)を「𪛗」(M02360)の直後に移動
 - 巻13下「𪛗」(M10027)を「𪛗」(M09942)

の直後に移動

- 卷14下「齷」(M11103)を「齷」(M11051)の直後に移動

- 卷01上「叡」(M00131)を「叡」に変更した。文淵閣本も同様に変更している。小徐本字形に近づいているけれども、それが目的ではなく、部首の「玉」を含めるための可能性がある。
- 卷02下「述」(M01224)、「速」(M01336)の小篆が五次修訂本では衝突しており(どちらも「速」になっている)、おそらくこれを回避するため「述」の字形を変更した。文淵閣本も同様に変更している。
- 卷02下「述」(M01327)をおそらく誤って「述」(M01210)につくった。文淵閣本では「述」のままである。
- 卷07上「曆」(M04870)をおそらく誤って「歴」(M01181)につくった。文淵閣本では「歴」のままである。
- 卷08上「儻」(M05700)をおそらく誤って「儻」につくった。文淵閣本では「儻」のままである。
- 卷13下「蜚」(M10028)をおそらく誤って「𧈧廷虫」につくった。文淵閣本では「蜚」のままである。
- 卷07上「𧈧」(M05110)を削除した。文淵閣本でも同様に削除されている。この文字は5次修訂の際に小徐本から持ち込まれた文字であるけれども、これだけ削除する理由は不明である¹⁷。

の程度である。

汲古閣通行本で毛辰が小徐本から持ち込んだと思われる見出し字の大半は、摘藻堂本でも残っていることから、汲古閣本以外の資料と対校はしていないと思われる。四庫提要においても、五音韻譜との関係や¹⁸、許氏説文と大徐本の関係については議論されているけれども、宋刊小字本などを含めた大徐本の書誌学的な議論はされてない¹⁹。

以上から、四庫全書の大徐本説文解字の小篆字形は、大半は汲古閣本の通行本をそのまま書写しており、意図的な改変はかなり少ないと期待できるだろう。従って、小徐本においても、汲古閣本に寄せる可能性は排しきれないけれども、汲古閣

本でも小徐本でもない全く別の資料に寄せるために多くの改変を加える動機は無いと言えるだろう。

3.2 小徐本の比較結果

小徐本の比較で見つかった差異は大徐本の比較よりかなり多いため、紙幅の制限から本稿では大徐本の調査で得られた差異よりも大きいものを示す。本節では、まず小徐本の見出し字数の異同について整理し、その後に字形の差異について議論する。

3.2.1 見出し字の出入りについて

小徐本の卷01～29の見出し字数を数えると、

文淵閣本	10369字
汪啓淑本	10394字
述古堂本	10691字
祁鶴藻本	10724字

となる。祁鶴藻本に無く他本にある文字を以下に整理した。小徐原本に由来すると考えられるものは無い。

- 述古堂本
 - 卷18「𧈧」「𧈧」(K06650, K06651)が、まず他本と同じ位置に書かれたのち、「𧈧」(K06658)の後に再度書かれている。説解は同じであり、誤写と思われる。
- 文淵閣本
 - 以下の5字が他本に見えない。
 - 卷06「𧈧」(K02159)の次に文淵閣本が籀文として挙げる「𧈧」。他本は「𧈧」に続いて「𧈧」とその籀文「𧈧」を挙げるけれども、この2つは文淵閣本にない。おそらく、まず𧈧・𧈧の2字が脱落して、𧈧の説解の「籀文」だけが残存した状態があり、そこから発生したものと推測される。ただし字形は言部の「𧈧」と衝突するため、字形がどういう根拠から来ているのかは不明。
 - 卷06「𧈧」(K02187)の次に殺の古文として挙げる「𧈧メ𧈧」。小徐本は殺の古文として殺・𧈧・𧈧・𧈧の4つを挙げるけれども、四庫全書では最初の殺が無い代わりに、𧈧の後にこれが追加されている。字形に関する注記が何もないため、字形の根拠は不明である。

- 卷11「櫛」(K04248)の次に文淵閣本が古文として挙げる「𣎵木櫛(櫛)」。説解は「古文櫛、従木無頭。臣鍇曰指事也。」とするけれども、この説解は他本では「不」(K04249)に附すものである。他本では「櫛」の他の古文として「不」(K04249)と「𣎵」(K04250)を挙げるけれども、文淵閣本では「櫛」(他本における「不」の説解を附している)と「不」(他本における「𣎵」の説解を附している)を挙げる。字形の根拠はおそらく「従木無(頭)」を部品の列挙と解釈したと思われる。玉篇や集韻に「櫛」は見えるけれども、それは「模」の或体であって「櫛」とは関係がない。
- 卷19「駢」(K06824)の次に或体として挙げる「𣎵馬決」。説解は「或不省。」とする。祁寯藻本・述古堂本では「駢」に続いて「駢」・「羸」が掲出され、さらに羸の或体である「驢」が掲出されるけれども、文淵閣本はこれら3字を含まない。まず駢・羸・驢の3字が脱落し、驢の説解の「或不省。」だけが残った状態があり、この説解を「駢」の或体に対するものだったとして字形を推定したと思われる。
- 卷20「思」(K07254)の次に挙げる「儉」。説解は「已見心部。」とする。文淵閣本も他本も「儉」(K07432)として後に掲出する文字である。文淵閣本の思の説解は「～臣鍇曰、今皆作思。冊所言衆也。會意。先廉反、疑此誤収。」となっており、続いて、「儉、已見心部。」と掲出する。他本の思の説解は「～先廉反。臣次立曰、疑此誤収、已見心部。」となっている。これは、思がK07435としても掲出されているため、誤収を疑ったものである。本来は他本のような説解だったものが、部分的に脱落した結果、K07254の次にもう一つ見出し字があると誤解されたと推測されるけれども、その見出し字として「儉」が選ばれた理由は不明である。

見出し字総数からは、文淵閣本が(述古堂本や

祁寯藻本に比べれば)汪啓淑本に近く見える。実際、卷13以降では、汪啓淑本と文淵閣本は連続せずに突然1字だけ抜けている状況がしばしば見られ、その箇所が符合している(たとえば卷13では族:K04754、期:K04774、嗣:K04781、号:K04812、曩:K04820、植:K04848、種:K04849、兪:K04866、穠:K04894、秕:K04914、穌:K94828～科:K04934、穉:K04947～黏:K04948、黽:K04955、𩇛:K04967、糗:K04983～𩇛:K04984、糴:K04988、楛:K05018、𩇛:K05021～廢:K05022の脱落が符合している)。汪啓淑本のほうが収字数が多いことについては、汪啓淑跋にあるように四庫の稿本に数種の写本を組み合わせ編んでいるため、四庫全書本で脱落しているものを補ったとしても理解できるけれども、これらの一致については説明が必要となるだろう。

またこれとは逆に、「祁寯藻本、述古堂本、文淵閣本は含むけれども、汪啓淑本は含まない」ものは7字見つかった。

- 卷19「黔」(K07161)

汪啓淑本は当該箇所「黜」(K07179)の字形に作るけれども、説解は他本の黔と同様に「从黑今聲」とある。「黜」は述古堂本・祁寯藻本では黒部の末尾に在り、大徐本の説解が附されている。汪啓淑本・文淵閣本は黒部の末尾には「黜」を掲出しない。汪啓淑本が「黔」であるべきところを「黜」に作ったのは誤刻の可能性はある。

- 卷20「慢」(K07464)

汪啓淑本では「慢」(K07463)の後に不自然な空白があり、「慢」「怠」(K07465)を掲出せず、次の行で「懈」(K07466)を掲出する。文淵閣本も同じように「慢」の次に「懈」を掲出するけれども、詰めて書かれていて空白はない。その後、文淵閣本は「忤」(K07489)の箇所に「慢」の小篆を示して「貪也。从心曼聲。春秋傳曰忤歳而愒曰、五翰反。」と掲出している。これは述古堂本・祁寯藻本に見える「忤」の説解「貪也。从心元聲。春秋傳曰忤歳而愒曰、五翰反。」が誤ったものであろう。述古堂本・祁寯藻本での「慢」の説解は「惰也。従心曼聲。一曰慢不畏謀患反。」である。上記の文淵閣

本の状況は、「忸」の小篆が一度失われた後、説解にも誤りが発生し、その後に小篆が誤って復元されたと推測される。

● 卷20「恣」(K07611)

汪啓淑本、述古堂本は掲出しない。祁寯藻本では徐鍇の案語があり、反切も「津宜反」となっており、現行大徐本を引いてきたものではない。一方、文淵閣本では徐鍇の案語がなく、反切も才規才累二切、となっていることから、大徐本から引いてきたと思われる。四庫全書の編纂時に補ったのか、紀昀家蔵本ではすでに補われていたのか、今判断しがたい。しかし、文淵閣本においては、冨部・𠂔部の全体と𠂔部の前半が脱落し、𠂔部の後半が冨部に混ざっている状態が放置されていることを考えると、編纂時にこの一字だけを追加したとは考え難い。

● 卷23「職」(K08490)～「聆」(K08493)

祁寯藻本・述古堂本ではこれらの反切は全て某某切となっていて、大徐本から持ち込まれた可能性が高い。文淵閣本の「𠂔」(K08492)は、反切が「亡彼切」ではなく「亡彼反」に、「聆」(K08493)は「巨今切」ではなく「臣令反」にしている。文淵閣本の状況では大徐本から持ち込まれた可能性に気づき難いけれども、『考異』初版では「職、此字以下説俱三行注當是舊本説脱後人校増」と指摘している。汪啓淑本は大徐本由来と考えて削除した可能性がある。

以上のように、汪啓淑本は資料にあっても何等かの理由で落としている可能性が推測されるため、脱字総数のみを根拠として汪啓淑本と文淵閣本のどちらが小徐原本に近いのかを評価することは今控えておきたい。

3.2.2 小徐本の字形差

小徐本の差異は大徐本の差異に比べると非常に多い。ここでは、差異をできるだけ少なく見積もるため、文淵閣本が汲古閣本・汪啓淑本・述古堂本・祁寯藻本のどれかと符合する場合は差異なしとした。差異をいくつかのグループに分類して数えると以下ようになる。

● 全く別の小篆になっているもの(表2)

73字

● 部品数に違いがあるもの(表3)

108字

● 部品は対応づくけれども、偏旁冠脚構造が異なるもの(表4)

276字

➤ 構造差が連続的と考え難いもの

186字

この他、本稿では具体例を省略するけれども、大徐本の比較に見えるような、部品数・構造が同じで部品のデザインが異なるものは300字以上見つかっている。

まず、偏旁冠脚の構造の違いが多いことが目立つ。大徐本の四庫全書においては、偏旁冠脚の構造は底本の汲古閣本とほぼ完全に一致しており、カンムリが載っているだけか・カマエのように全体にかかるか、といった連続性がある違いはなかった。一方、文淵閣本と他本を比較すると、左右の入れ替わりなど、伝写を繰り返している間に連続的に変化するとは考えにくいものが多い(276字中186字)。

古漢字においては、構成する部品が対応づき、構造が異なっても、字義的には交代可能な異体字群があることが良く知られる(異構字・動用字と呼ばれる)。しかし、四庫全書における大徐本の書写状況を見る限り、四庫全書の編纂時に大徐本にも従わない異構字を大量に発生させるとは考えにくい。また、字形としては異構関係にあっても、説文の体系の中では別字であって交代できないものもあり、それらが文淵閣本で衝突している事例がある(例えば文淵閣本は妃:K08813と改:K08864の字形は全く同じである)ことを考えると、これらは編纂時の改変の結果ではなく、紀昀家蔵本に由来すると考えるのが自然ではないだろうか。

次の問題は、この差異がどの程度古形を残しているのか、という点である。異構字でもいくつか見られるけれども、全く別の小篆になっていたり、部品数が違っているものにも、別の小篆と衝突しているものがある。摘藻堂本でも、そのようなものが4字見つかっている(説文の内部での衝突が見られるのは、「述」(M01224)、「途」(M01327)、また、楷書では別字になっているものとして、「𠂔」(M04870)、「𠂔」(M05700))が、文淵閣本『繫傳』

では全く別の小篆になっている73字のうち26字、部品の増減がある108字のうち20字が説文内部の別の小篆と衝突している。従って、これらの字形が、説文の全体の整合性に配慮しながら書いた筈の小徐原本に由来するとも考えにくい。

またさらに、部品の増減や、まったく別の小篆になってしまっている例は『篆韻譜』の調査結果には見られなかったものである。従って、大徐以前に通行していた小篆というよりも、小徐本の転写の過程で発生したか、あるいは、一度小篆が失われたのち、説解から推定して造られたものが多数混じっていると思われる²⁰。

ただし、「𠄎」(K09203、「彈」の古文)に対して文淵閣本が「弓」(『汗簡』に見え、段玉裁は「𠄎」ではなく、この「弓」が正しいとする)を示すなど、現行小徐本と差がある部分に大徐以前の姿が見える部分もあることには注意が必要であろう。

4 結論

4.1 調査結果の解釈

本稿では、文淵閣本『繫傳』の小篆を汲古閣本および汪啓淑本・述古堂本・祁寯藻本と比較し、以下の結果を得た。

- 収字数の観点では四庫全書は旧説の通り汪啓淑本に近い。
- 小篆字形は現行の他の小徐本、および汲古閣本とも異なるものが多いけれども、それは四庫全書編纂の中での改変ではなく、紀昀家蔵本によると推定される。
 - 摘藻堂本は汲古閣本をかなり忠実に模写できていることから、書写の品質が低いために生じた誤りとも考え難い。
- 文淵閣本に見える特殊な字形の多くは小徐原本に由来するのではなく、伝写の過程で生じた可能性がある。
 - 説文内部で他の小篆と衝突しているものがあり、全体としての整合が取れない。
 - 『篆韻譜』の調査では異構字はあっても部品の増減や全く別字となっているものは殆ど無かった。

文淵閣本と汪啓淑本は収字数こそ近いものの、字形の違いが非常に多いため、汪啓淑本の底本は別の稿本であるという董婧宸氏の仮説は妥当に思われる。

以上から、四庫全書本は、『篆韻譜』10巻本や、述古堂本の字形が誤写かどうかを判断する補助的な材料としては使えるけれども、四庫全書本にしかない字形を小徐原本の字形に近いと考えるのは危険ということになるだろう。

4.2 四庫全書本成立の背景

他の版本に比べて非常に問題が多い四庫全書本『繫傳』が成立した理由をどのように考えれば良いだろうか。このことに関しては、提要に書かれた文献に対する評価を考えるとある程度理解できる。

まず、一般論として、当時入手可能だった小徐本が非常に混乱していて、大徐本があちこちに混ざっていることを述べる。

「…則繫傳在宋時、已殘闕不完矣。今相傳僅有鈔本。錢曾讀書敏求記、至詫爲驚人祕笈。然脫誤特甚。…殆後人求其原書不獲。因摭鉉書以足之。…其餘各部闕文、亦多取鉉書竄入。…錯編篇末、其文亦似未完。無可採補、則竟闕之矣。」

このままであれば進呈された資料を四庫に保存するとしても、四庫全書として書き写す価値があるかどうか疑問が生じるけれども、これに続いて紀昀が考える小徐本の価値が以下のように説明される。

「此書成於鉉書之前。故鉉書多引其說、然亦時有同異。…又鉉本祭字下引禮記、禱字下引詩之類、此作臣錯案禮記曰、臣錯案詩曰。則錯所引、而鉉本滲入許氏者甚多。又如饜字下云闕、此作家本無注、臣錯案疑許慎子許沖所言也。是鉉直刪去家本無注四字、改用一闕字矣。其憑臆刪改、非賴此書之存、何以證之哉。」

つまり、大徐本の説解には、後人の言や徐錯の案語を許慎原本の説解であるかのように混ぜている可能性があり、それが小徐本によって証明できると考えている。これが脱落の多い小徐本を四庫全書に含めた動機だと考えれば、大徐本と整合する底本よりも、むしろ大徐本と異なる部分が多い底本を選ぶことも選択肢としてはありうるのではないだろうか。

4.3 今後の課題

今後の課題として、まず四庫全書本は底本が違おうとしても汪啓淑本に近いのか、述古堂本に近いのかについて結論を出す必要がある。収字数の観点では汪啓淑本に近いけれども、個別の字形の観点ではそうではなく、むしろ述古堂本に近い場合も見られた。これを矛盾なく説明できる理解が望まれる。このためには欠字箇所についての精査も必要である。本稿の結果を見る限り、小篆の字形差の多さから、汪啓淑本と四庫全書本の底本は別であったとする董婧宸氏の仮説は支持されると言っても良いだろう。しかし、同時に汪啓淑本と欠字箇所がしばしば符合していることについての説明は不十分である。汪啓淑本のみ欠いている部分の分析から、汪啓淑本は底本にある小篆を全て採っているわけではないよう思われるが、四庫全書本でも同様の採録基準があるために結果として欠字箇所が符合した可能性もある。

また、小篆字形の部品単位の字形差の精査がある。本稿では紙幅の制限のために示せていないけれども、「魚」の他に見える傾向として、「罍」をしばしば「罍」（これは「罍」の古文として示される文字だけれども、これを部品として用いる小篆は説文に無い）と書く傾向が見つかっている。また一方、「丞」は小篆では山を含む「丞」のように書くべきところだけれども、山を含まない「丞」で書かれていることが多い。他の資料との簡易な比較のためにも、デザインの統一的な傾向を見る必要がある。

次に、四庫全書本『繫傳』内部での小篆と説解の整合性の調査がある。いくつかの小篆については説解から推定して書かれたと思われるけれども、その説解に誤脱があれば結果として小篆が崩れる。『篆韻譜』との突合せをする際には、それらを除外することが必要であろう。

最後に、四庫学の観点での課題として文津閣本との比較がある。四庫館には紀昀家蔵本の他にもう一種の小徐本があったと見られるため²¹、もし宋本玉篇のように文津閣本での追補が行われていれば、このもう一種の小徐本の性格についても推測できる可能性があるだろう。

謝辞

本稿は科研費課題番号16K004600Aの補助を受けました。本稿の調査は東ヶ崎祐一先生にご教示いただいた知見から始まっています。近年の説文の書誌学的研究の動向について白石將人先生、大西克也先生に様々なご教示を頂きました。中国国家図書館の電子データ閲覧に関しては大居司氏にご協力を頂きました。宋本玉篇の書誌学的研究については池田証壽先生、劉冠偉氏にご教示を頂きました。また、四庫館への文献の出入りについて楊洪升先生にコメントを頂きました。ここに感謝致します。

注

- ¹ 本稿では『繫傳』の名称、提要や跋文の引用、また説文小篆を指示する用途以外では基本的には日本の新字体を用いて表記する（「説」など）。ただし、現代の中国語論文の題目および引用文では、標点を日本語の句読点に改めるが、括弧類は改めず、また簡体字はJIS X 0208で表記できる旧字体に改めた。
- ² 現在広く参照される小徐本の版本としては、四庫全書本の他に汪啓淑本(1782)、龍威秘書本(1794、汪啓淑本に基づく)、祁寯藻本(1839)、述古堂本(版芯に述古堂の名前があるところから述古堂で書写されたもので、明末以降と見られる。四部叢刊初印本(1919-1922)は全てこれによる)、鉄琴銅劍樓本(南宋刊本とされる、明の趙宦光旧蔵。四部叢刊重印本(1926-1929)は巻01-29を述古堂本により、巻30-40はこれによる)がある。四部叢刊の初印・重印における底本変更は参考文献[7]に詳しい。
- ³ 本稿では徐鍇が編んだ後、宋代の改変を受けていないものを小徐原本と呼ぶ。
- ⁴ 大徐本・小徐本とも、正文1字について文字の構造を解説し、反切によって字音を示す。それに続いて、同義の古文・籀文・或体などを示す。これらを重文と呼ぶけれども、同義・同音であるため解説は簡略である。大徐本・小徐本の違いが見え難いことから、説解を根拠に「大徐本から追加された可能性がある重文」を考えると非常に多くなっ

- てしまう。
- ⁵ たえば文献[19]が紹介している翁覃溪本は小篆が無かったとされる。小篆が非常に重要な意味を持つ説文において、このような写本が発生する経緯ははっきりしないけれども、説文写本の中には説解と小篆で書写の品質が非常に異なって見えるものがあるのは事実である。『篆隸万象名義』のように小篆を後に書き込もうとしたまま残った可能性も考えられる。
- ⁶ 東ヶ崎氏より2015年6月の私信でご教示頂いた。四庫全書本『繫傳』はほぼ全ての小篆が「魚」を「𩺰夕門火」または「𩺰夕四火」に作る。この字形は大徐本・小徐本とも見出し字として掲出しなくても、通行の大徐本では籀:M08538(=K08233)の部品として一度だけ使われる。大徐本の巻15下の「篆文筆跡相承小異」の節の中で「説文作史籀筆跡小異非別體」と説明されている。この節の中には小徐が疑義篇で説文字体と小篆に差があるとした文字のうち長・彳・肉が含まれており、二徐の立場についていささかの考察が可能と思われるけれども、今後の課題としたい。小徐の立場については福田哲之氏による論考がある[6]。
- ⁷ 『四庫全書総目提要』の巻首には、四庫全書事業に関わる乾隆帝の聖諭が集められているが、乾隆39年5月14日付けのもので鮑士恭・範懋柱・汪啓淑・馬裕は500種以上提出したことから『古今圖書集成』を与えることが書かれている。これより少ないが、100種以上提出した蔵書家や紀昀には『佩文韻府』が与えられている。
- ⁸ もし、稿本が紀昀由来で、その他に組み合わせた抄本が士大夫由来であると考え、ここに士大夫の話を入れるのは確かに不自然である。
- ⁹ 本稿の問題意識からは外れるけれども、董靖宸氏は、祁寯藻本と述古堂本の祖本がつながる系列と、朱文藻抄本や汪啓淑本の祖本がつながる系列の2つを想定している。東ヶ崎氏によれば述古堂本と汪啓淑本の反切が符合し、かつ、祁寯藻本の反切が異なる場合も多いとのこと、なお一層の検討が必要であろう。
- ¹⁰ 文献[26]では、文淵閣本が正本として成立し、その後、これをもとに作った副本が文津閣本や文溯閣本に収められたという立場をとっている。これが一般的な理解と思われるけれども、戸崎氏の研究[27]では底本が違っている場合も見つかっており、仮に文淵閣にて文津閣や文溯閣に配置するものを書写したとしても、文淵閣本から書写しているのか、その底本から改めて書写しているのかは、一概には言えないのであろう。
- ¹¹ 『四庫全書補正』[28]で補正されている字書類はわずかに「六書故」のみである。文津閣本との比較により文淵閣本の脱落を補った『四庫全書補遺』[29]は集部しか出版されていない。
- ¹² 四庫提要では四庫全書本の底本は紀昀家蔵本であるとする。また、四庫提要は澤存堂本について強く批判し、さらに曹寅本は澤存堂本と同じであるとする。この批判は岡井慎吾『玉篇の研究』にも引き継がれて半ば定説化しているけれども、『四庫採進書目』[37]では紀昀が玉篇を進呈した記録は見えない。馮氏は四庫全書本の底本は曹寅本で、そこに澤存堂本を部分的に追加したと見ている[30]。
- ¹³ 結果表に含めなかった差異としては以下のものがある。
焉:K02760は上を「正」のようにつくる(述古堂本と同じ)。
𩺰:K07195は又であるべきところが又になっている(述古堂本と同じ)。
𩺰:K07196は脱落(汪啓淑本も脱落)。
𩺰:K07197は脱落(汪啓淑本も脱落)。
𩺰:K07202は「日」の部分の古文風にデザインする(大徐本も含め類例がない)。
- ¹⁴ 汲古閣本に限らず、大徐本の中では「秋」「𩺰」のどちらも部品としてあらわれるけれども、汲古閣本と摘藻堂本でこれが交代しているものは無かった。
- ¹⁵ 5巻までは正規化(四庫全書では「エ」につくる)の意識が見られるけれども、その後は汲古閣本と同じになっている。
- ¹⁶ 小篆の「𩺰」は、下部を△のように作るものが多いけれども、薈要本の「𩺰」は、楷書の「𩺰」のように□に作る。
- ¹⁷ 段注本では採らない。5次修訂で追加されて摘藻堂本・文淵閣本に残っているものとしては「𩺰」(M04395, 巻06上木部)、「𩺰」(M09011, 巻12上手部)

などがある。従って、5次修訂の増字を認識して削ったとは考え難い。

- ¹⁸ 四庫館には五音韻譜は所蔵されており、四庫提要にも項目としては挙げられているけれども、四庫全書の中で書写されてはいない。四庫提要においては、汲古閣本にあって五音韻譜にない文字は五音韻譜が削った、汲古閣本と五音韻譜で反切が異なるものは五音韻譜が変えた、と見ていて、汲古閣が他の資料から持ち込む可能性は全く考えていない。また、五音韻譜が四庫全書の中で書写されていないためか、説文解字の巻前提要の中では本来不要なほどに五音韻譜について説明している部分が多い。
- ¹⁹ 北京国家図書館には紀昀の跋がある汲古閣本が残る。巻01～02を確認する限り、本文への校語は全く書き込まれていない。一部、校語を書いた籤が挟まれているけれども、「孫本」などの語が見えるため、後の所蔵者が加えたものであろう。この跋は巳卯の年記(乾隆24年、1759)があり、四庫館の設置(乾隆37年、1773)よりもかなり前のものである。しかし、四庫提要に見える「毛扆の跋では、重文数が合わない原因を、李燾がひく林罕の説、つまり呂忱の字林から古文・籀文が加えられた、と書いているけれども、それは誤りである」の説を既に書いている。提要は必ずしも紀昀自身が書いたものではないことが指摘されているけれども、大徐本の提要は紀昀自身の手によるものであろう。
- ²⁰ 祁寯藻本に見えない文淵閣本見出し字の分析で述べたように、文淵閣本の字形の中には、転写の過程で小篆が訛ったのではなく、説解から推定して作字したように見えるものがある。その典型的なパターンは、部首Aにおいて、正文を「従A声B」と注した後、その重文が「或従C」などと注して示される状況で、大徐本や通行の小徐本では重文の字形が「C+B」であるのに、文淵閣本は「A+C」の字形で示すというパターンである。たとえば、「𠄎」(K00181)を文淵閣本は「珥」のように書く。この項は「玩、弄也。従玉、元聲。五汗反。」の次に玩の或体として掲出されており、他本での説解は「玩或従貝。錯曰、貝亦玩也。」である。文淵閣本では「玩或従貝。錯曰、貝亦翫也。」となっており、「貝」が部品として含まれることは説明で

きるけれども、「元」と差し替えることを説明できない。

注意深く考えれば、このような「A+C」の字形は声符を欠くこととなり、説解が字形をうまく説明できなくなっている。校訂者が小篆の知識がないとしても、他本の字形を見てどちらが選定したのであれば、文淵閣本の字形が適切だと判断するとは考えにくい。従って、仮に他本を参照しながら校訂していたとしても、「正しい小篆字形に寄せる」という考え方で修正を加えたとする結果を説明できない。

- ²¹ 『四庫採進書目』[37]では、侍讀紀交出書目(p.184)に説文解字繫傳40巻6本が見えるけれども、両江省第一次書目(p.33)にも説文解字通釋40巻抄本10本が見える。江蘇採輯遺書目錄録目(p.210)にも説文解字通釋40巻が見えるけれども、これは両江第一次書目に見えるものと推測される。『翁方綱纂四庫提要稿』にはこれらは見えず、いつ頃四庫に入ったかは明らかでない。楊洪升氏に、この両江第一次書目に見える「通釋」が朱文藻抄本である可能性を尋ねたけれども、まずないだろうとのコメントを頂いた。

参考文献

- [1] 許慎:『説文解字』, 中華書局(1963.12), ISBN 7101002609.
- [2] China NB: “References on Old Hanzi”, ISO/IEC JTC1/SC2/WG2/IRG N1134 (2005.5.25)
- [3] 徐鍇:『説文解字繫傳』, 中華書局(2017.5), ISBN 9787101125474.
- [4] 周祖謨:「唐本説文與説文舊音」, 『問學集』, 中華書局, p.723-759.
- [5] 高久由美:「『説文解字』祖本への接近(上): 小篆の字形を中心として」, 県立新潟女子短期大学研究紀要, 第36集(1999.3), p.129-138.
- [6] 福田哲之:「唐写本『説文解字』口部断簡論考」, 書学書道史研究, 第13号(2003), p.43-53.
- [7] 張靜廬:『中国現代出版史料』, 1954.12-1959.11, 甲編, p.351-364.
- [8] 段玉裁:『汲古閣説文訂』, 五硯樓(1797).
- [9] 花登正宏:「古今韻会举要所引説文解字考」, 大原

- 市立大学大学院文学研究科紀要, 38卷(1986), 4号, p.335-352.
- [10] 中前千里:「『古今韻会举要』に引く『說文解字』について」,『漢語史の諸問題』,京都大学人文科学研究所(1988.03), p.341-366.
- [11] 坂内千里:「『說文解字繫傳』疑義篇考(三):「通釋篇」中の偏旁について」,言語文化研究, 43卷(2017.3), p.51-75, <https://doi.org/10.18910/61283>
- [12] 白石将人:「《說文解字》文本的歴史文献學研究 — 以宋代校訂為中心 —」,北京大学歴史学系博士学位論文(2017.6)
- [13] 糸原敏章:「張次立による『說文解字繫傳』の校訂について」,東京大学中国語中国文学研究室紀要, 12卷(2009), p.1-24.
- [14] 王勝昌:「說文篆韻譜之源流及其音系之研究」,国立台湾師範大学国文研究所碩士論文(1974).
- [15] 小川環樹:「論《說文篆韻譜》部次問題」,語言研究, 1983年1期, p.17-21.
- [16] 工藤早恵:「十卷本『說文解字篆韻譜』について」,東京都立大学人文学報, 213号 (1990), p.49-63.
- [17] 鈴木俊哉、鈴木敦、菅谷克行:「說文解字篆韻譜に見える說文解字繫傳25卷所収文字の状況」,情処研報, 2017-CH-113, p.1-8.
- [18] 鈴木俊哉:「『說文解字篆韻譜』と『說文解字繫傳』収字対応調査」,東洋学へのコンピュータ利用第29回研究セミナー(2018.03.09, 於京都大学), ISSN 0910-3201, p.43-268.
- [19] 王獻唐:「說文繫傳三家校語抉録」,山東省立図書館,季刊第1集,第1期(1931),校勘 p.1-70.
- [20] 東ヶ崎祐一:「『說文解字繫傳』反切校勘記(1) 三本異同考(上)」,東北大学言語学論集, 17卷(2008), p.111-137.
- [21] 楊洪升:「四庫館私家抄校書考略」,文献, 2013年1月第1期, p.56-75.
- [22] 董婧宸:「傳抄、借閱与刊刻:清代《說文解字》の流考」,北京師範大学博士后研究報告, 2017年7月, p.69.
- [23] Cheng Yu Tung East Asian Library: “Siku Quanshu (四庫全書, SKQS) Available Now Through the Internet Archive”, <http://ealuoft.blogspot.com/2010/01/siku-quanshu-skqs-available-now-through.html> (2018/08/20 閲覧)
- [24] 商務印書館編輯部:「編纂與流傳 文津閣《四庫全書》出版前言」<http://culture.people.com.cn/BIG5/40466/40468/4330920.html> (2018/08/20 閲覧)
- [25] 藍文欽:「四庫全書文淵、文溯、文津三閣書前提要之文字比勘:以三百六十五種書前提要為例」,圖書資訊學刊, 第13卷第1期(2015.6), p.33-68, <https://jlis.lis.ntu.edu.tw/article/v13-1-3.pdf>
- [26] 吾妻重二:「『統修四庫全書』と四庫関連叢書」,関西大学図書館フォーラム, 9卷(2004), p.18-22, <http://hdl.handle.net/10112/10595>
- [27] 戸崎哲彦:「清内府蔵本『廣註釋音辯唐柳先生集』考」,島大言語文化, 35卷(2013), p.1-33, <http://ir.lib.shimane-u.ac.jp/28673>
- [28] 国立故宫博物院:『四庫全書補正』經部,台湾商務印書館(1995.10).
- [29] 楊訥,李曉明:『文淵閣四庫全書補遺』,北京図書出版社(2005-2006), ISBN 7501328382, 7501328021.
- [30] 馮先思:「四庫本《玉篇》版本考」,図書館雜誌, 2015年第8期, p.104-107,112.
- [31] 四庫全書薈要 乾隆御覽本 說文解字 <https://archive.org/details/06081956.cn-/06081963.cn>
- [32] 許慎: 說文解字15卷, 據汲古閣本重刊 有惠棟席世昌校語席誤識語圖記, <http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/db-machine/toho/html/A020menu.html>
- [33] 徐鍇: 說文解字繫傳(汪啓淑本), 東北大学附属図書館所蔵, 請求番号 教養821-99.
- [34] 徐鍇: 說文解字繫傳(祁寯藻本, 道光19年版影印), 華文書局(1971).
- [35] 徐鍇: 說文解字通釋(述古堂本), 四部叢刊正編, 大本原式精印, 台湾商務印書館(1979).
- [36] 徐鍇: 說文擊傳(文淵閣本), <https://archive.org/details/06050623.cn-06050633.cn>
- [37] 吳慰祖:『四庫採進書目』,商務印書館(1960).
- [38] ISO/IEC JTC1/SC2: “Ideographic Description Characters”, Information Technology – Universal Coded Character Set (UCS): 2014-09-01, Annex I, p.2423-2426.

表 1: 汲古閣本(京大所蔵本)と四庫全書薈要本(摘藻堂本)の差異

最初の通し番号は汲古閣本通行本の見出し字を正文・重文を問わずに一律に振ったものである。『加番説文解字』などの、一篆一行本の正文だけに通し番号を振ったものとはずれがあるので注意されたい。また、見出し字は検索の便のために附しており、必ずしも最適な隸定字ではない場合もある。掲出箇所は、たとえば「毛 5: 卷 01 上.02b.g03」は、毛氏汲古閣本 5 次修訂本の巻 01 上、葉 02 左頁、見出し字 3 つめ、を指示し、「摘藻: 卷 01 上.03a.g03」は摘藻堂本の巻 01 上、葉 03 右頁、見出し字 3 つめ、を指す。「毛 5」には汲古閣本、「四」には摘藻堂本の字形を示す。切り出し元と違った汲古閣本、摘藻堂本の画像に関しては参考文献を参照されたい。全体で小篆の差異は 220 字ぶん見つかり、うち、欠筆は 25 字ある。カシラ・カシムリをかかると変更したものが 8 字、かからないように変更したものが 21 字、囲み方の変更が 6 字ある。

#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M00020	禮, 禮	毛 5: 卷 01 上.02b.g03 摘藻: 卷 01 上.03a.g03			手丰が連続しないよう修正
M00023	禛	毛 5: 卷 01 上.02b.g06 摘藻: 卷 01 上.03a.g06			欠筆
M00067	禔, 禔, 禔	毛 5: 卷 01 上.04a.g05 摘藻: 卷 01 上.05b.g02			馬のエとコ
M00070	禔	毛 5: 卷 01 上.04a.g08 摘藻: 卷 01 上.05b.g05			馬のエとコ
M00089	禔	毛 5: 卷 01 上.04b.g13 摘藻: 卷 01 上.06b.g07			天のくねり方向を変更
M00093	禔, 禔	毛 5: 卷 01 上.05a.g04 摘藻: 卷 01 上.07a.g02			旁の縦画が接触しないよう変更
M00131	𠄎, 𠄎	毛 5: 卷 01 上.07b.g02 摘藻: 卷 01 上.10a.g06			玉を追加
M00228	𠄎, 𠄎	毛 5: 卷 01 上.10b.g14 摘藻: 卷 01 上.15a.g08			𠄎になっていたものを玉に修正
M00238	珣	毛 5: 卷 01 上.11a.g09 摘藻: 卷 01 上.16a.g01			月の形を変更
M00327	蘆, 芦	毛 5: 卷 01 下.03a.g11 摘藻: 卷 01 下.04a.g03			蘆を苗を田のように変更
M00374	第	毛 5: 卷 01 下.04b.g11 摘藻: 卷 01 下.06a.g06			大を大に変更
M00395	葦	毛 5: 卷 01 下.05b.g01 摘藻: 卷 01 下.07a.g05			葦を帯に変更
M00462	葦	毛 5: 卷 01 下.07b.g04 摘藻: 卷 01 下.10a.g07			人を口に接触させるよう変更
M00498	著	毛 5: 卷 01 下.08b.g07 摘藻: 卷 01 下.12a.g01			旨の左側は囲まないよう変更
M00517	蕒	毛 5: 卷 01 下.09a.g10 摘藻: 卷 01 下.12b.g09			ワカムリをウカムリに変更
M00537	蕒	毛 5: 卷 01 下.09b.g13 摘藻: 卷 01 下.13b.g05			蕒を変更
M00544	蕒	毛 5: 卷 01 下.10a.g02 摘藻: 卷 01 下.14a.g01			匹の囲いを変更
M00568	蕒	毛 5: 卷 01 下.10b.g10 摘藻: 卷 01 下.15a.g04			旁の縦画を接触しないよう変更
M00850	𠄎	毛 5: 卷 02 上.04b.g02 摘藻: 卷 02 上.05b.g07			𠄎を修正
M00898	𠄎	毛 5: 卷 02 上.06b.g10 摘藻: 卷 02 上.09a.g02			𠄎に誤っていたものをすに修正
M00920	嘘	毛 5: 卷 02 上.07a.g17 摘藻: 卷 02 上.10a.g02			トラガシラを全体にかからないよう変更
M00960	𠄎	毛 5: 卷 02 上.08b.g07 摘藻: 卷 02 上.11b.g10			匕を変更
M00962	𠄎	毛 5: 卷 02 上.08b.g09 摘藻: 卷 02 上.11b.g12			トラガシラを全体にかからないよう変更

#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M01101	𠄎	毛 5: 卷 02 上.13b.g12 摘藻: 卷 02 上.19b.g04			囲み方を変更
M01105	𠄎	毛 5: 卷 02 上.14a.g01 摘藻: 卷 02 上.19b.g08			欠筆
M01143	𠄎	毛 5: 卷 02 上.15a.g06 摘藻: 卷 02 上.21b.g01			全体にかからないように変更
M01151	𠄎	毛 5: 卷 02 上.15a.g14 摘藻: 卷 02 上.21b.g09			ケイガマエが全体にかからないように変更
M01200	正	毛 5: 卷 02 下.01a.g01 摘藻: 卷 02 下.01a.g01			京大本の字形が誤っているものを修正
M01224	述	毛 5: 卷 02 下.02a.g15 摘藻: 卷 02 下.02b.g09			M01336 との字形衝突回避のため一面削った
M01283	𠄎	毛 5: 卷 02 下.04a.g03 摘藻: 卷 02 下.05b.g03			糸に変更
M01327	途	毛 5: 卷 02 下.05a.g11 摘藻: 卷 02 下.07b.g04			摘藻堂本は途(M01210)と衝突する字形に描く、誤写か
M01430	街	毛 5: 卷 02 下.09a.g05 摘藻: 卷 02 下.13b.g01			欠筆
M01431	街	毛 5: 卷 02 下.09a.g06 摘藻: 卷 02 下.13b.g02			欠筆
M01516	躡	毛 5: 卷 02 下.12a.g14 摘藻: 卷 02 下.18a.g11			マダレに変更
M01545	躡	毛 5: 卷 02 下.13a.g10 摘藻: 卷 02 下.19b.g07			糸を変更
M01634	𠄎	毛 5: 卷 03 上.04a.g01 摘藻: 卷 03 上.04b.g04			ワカムリを繋ぐように変更
M01729	𠄎	毛 5: 卷 03 上.07a.g11 摘藻: 卷 03 上.09b.g08			白を白に変更
M01829	𠄎	毛 5: 卷 03 上.10a.g11 摘藻: 卷 03 上.14b.g05			白を修正
M01884	𠄎	毛 5: 卷 03 上.12a.g04 摘藻: 卷 03 上.17b.g02			兔に変更
M01888	𠄎, 𠄎	毛 5: 卷 03 上.12a.g08 摘藻: 卷 03 上.17b.g06			馬のエとコ
M01949	𠄎	毛 5: 卷 03 上.14b.g05 摘藻: 卷 03 上.21b.g02			里の形を変更
M02025	𠄎	毛 5: 卷 03 下.01b.g10 摘藻: 卷 03 下.02a.g04			兔を兔に誤る
M02082	𠄎	毛 5: 卷 03 下.03b.g02 摘藻: 卷 03 下.04b.g09			鹿のカムリを変更
M02403	𠄎	毛 5: 卷 04 上.02a.g01 摘藻: 卷 04 上.02a.g05			欠筆(京大本はカスレ)
M02447	𠄎	毛 5: 卷 04 上.03a.g13 摘藻: 卷 04 上.04b.g01			目の形を変更
M02448	𠄎	毛 5: 卷 04 上.03a.g14 摘藻: 卷 04 上.04b.g02			目の形を変更

#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M02472	瞋	毛 5:巻 04 上.04a.g06 摘藻:巻 04 上.05b.g03			ヒを変更
M02504	蒙	毛 5:巻 04 上.05a.g08 摘藻:巻 04 上.07a.g08			冡を修正
M02574	翥	毛 5:巻 04 上.09a.g02 摘藻:巻 04 上.12b.g03			日を変更
M02590	翮, 翮	毛 5:巻 04 上.09b.g04 摘藻:巻 04 上.13b.g02			羽が左右反転しているものを修正
M02738	鸛	毛 5:巻 04 上.17a.g10 摘藻:巻 04 上.24a.g08			鳥の形が不完全だが誤写か
M02755	鸛, 鸛	毛 5:巻 04 上.17b.g10 摘藻:巻 04 上.25a.g03			旁の下を本に変更
M02779	鸛	毛 5:巻 04 上.18a.g15 摘藻:巻 04 上.26a.g07			欠筆
M02817	鴿	毛 5:巻 04 上.19b.g03 摘藻:巻 04 上.27b.g10			谷の変更
M02869	玄	毛 5:巻 04 下.02b.g03 摘藻:巻 04 下.03b.g01			欠筆
M02870	玄, 玄	毛 5:巻 04 下.02b.g04 摘藻:巻 04 下.03b.g02			欠筆
M02871	玆	毛 5:巻 04 下.02b.g05 摘藻:巻 04 下.03b.g03			欠筆
M02872	玆	毛 5:巻 04 下.03a.g01 摘藻:巻 04 下.03b.g04			欠筆
M02938	兂, 兂, 兂	毛 5:巻 04 下.06a.g02 摘藻:巻 04 下.08b.g01			一画足している
M02949	𪛗	毛 5:巻 04 下.06b.g07 摘藻:巻 04 下.09a.g07			田を由に変更
M02970	𪛗	毛 5:巻 04 下.07b.g02 摘藻:巻 04 下.10a.g08			會を変更
M03028	胤	毛 5:巻 04 下.09a.g14 摘藻:巻 04 下.13a.g03			欠筆
M03033	𪛗	毛 5:巻 04 下.09b.g02 摘藻:巻 04 下.13a.g08			𪛗のエとコを変更
M03066	肱	毛 5:巻 04 下.10b.g03 摘藻:巻 04 下.15a.g01			玄に修正し、欠筆
M03072	𪛗	毛 5:巻 04 下.10b.g09 摘藻:巻 04 下.15a.g07			欠筆
M03110	𪛗, 𪛗	毛 5:巻 04 下.11b.g14 摘藻:巻 04 下.17a.g05			色を危に変更
M03180	𪛗	毛 5:巻 04 下.14a.g11 摘藻:巻 04 下.20b.g11			𪛗を修正
M03185	𪛗	毛 5:巻 04 下.14a.g16 摘藻:巻 04 下.21a.g04			𪛗を変更
M03198	𪛗	毛 5:巻 04 下.14b.g11 摘藻:巻 04 下.21b.g06			兔に修正
M03458	𪛗, 𪛗	毛 5:巻 05 上.07b.g06 摘藻:巻 05 上.11b.g01			由を修正
M03908	𪛗	毛 5:巻 05 下.15a.g02 摘藻:巻 05 下.20a.g03			主を曰土土に変更
M03943	𪛗	毛 5:巻 05 下.17a.g03 摘藻:巻 05 下.23a.g03			縦線を縮めた(が、次の「𪛗」は縮めてないので、単にデザイン上のものと思われる)
M03987	𪛗	毛 5:巻 06 上.02b.g13 摘藻:巻 06 上.03b.g01			𪛗を変更







#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M04210	𪛗	毛 5:巻 06 上.09b.g15 摘藻:巻 06 上.14a.g07			𪛗を修正
M04232	𪛗	毛 5:巻 06 上.10b.g05 摘藻:巻 06 上.15a.g08			𪛗を修正
M04284	𪛗	毛 5:巻 06 上.12a.g13 摘藻:巻 06 上.18a.g03			京大本で縦画が突き抜けていないものを修正
M04339	𪛗	毛 5:巻 06 上.14a.g07 摘藻:巻 06 上.20b.g09			京大本の及が筆写化していたものを修正
M04488	𪛗, 𪛗, 𪛗	毛 5:巻 06 下.05b.g07 摘藻:巻 06 下.07a.g07			京大本が又になっていたものを寸に修正
M04603	𪛗, 𪛗	毛 5:巻 06 下.10b.g01 摘藻:巻 06 下.14a.g03			縦画を長く変更
M04632	𪛗	毛 5:巻 06 下.11b.g06 摘藻:巻 06 下.15b.g08			𪛗の下部が正になっていたものを修正
M04656	𪛗	毛 5:巻 06 下.12b.g02 摘藻:巻 06 下.17a.g04			𪛗を井に変更
M04713	𪛗	毛 5:巻 06 下.14a.g14 摘藻:巻 06 下.19b.g11			兔に修正
M04821	𪛗	毛 5:巻 07 上.02b.g11 摘藻:巻 07 上.03b.g06			𪛗に接触するよう変更
M04837	𪛗	毛 5:巻 07 上.03a.g14 摘藻:巻 07 上.04b.g03			京大本は全く誤り
M04867	𪛗	毛 5:巻 07 上.04b.g01 摘藻:巻 07 上.06a.g07			アミガシラを他の部品にかからないよう変更
M04869	𪛗	毛 5:巻 07 上.04b.g03 摘藻:巻 07 上.06a.g09			雨カムリを他の部品にかからないよう変更
M04870	𪛗, 𪛗	毛 5:巻 07 上.04b.g04 摘藻:巻 07 上.06a.g10			これは四庫全書普及版が𪛗を𪛗に誤った
M04943	𪛗	毛 5:巻 07 上.09a.g05 摘藻:巻 07 上.12a.g06			𪛗の縦画が突き抜けないよう修正
M04989	𪛗	毛 5:巻 07 上.12b.g02 摘藻:巻 07 上.17a.g02			欠筆
M05060	𪛗	毛 5:巻 07 上.15a.g16 摘藻:巻 07 上.21a.g09			𪛗を米に変更
M05110	𪛗	毛 5:巻 07 上.17b.g10			摘藻堂本、文淵閣本には無い
M05164	𪛗, 𪛗	毛 5:巻 07 上.20a.g01 摘藻:巻 07 上.28a.g01			摘藻堂本では横画が1本欠けている
M05252	𪛗	毛 5:巻 07 下.05a.g06 摘藻:巻 07 下.06b.g01			ワカムリを接続した
M05355	𪛗	毛 5:巻 07 下.09b.g01 摘藻:巻 07 下.12b.g01			𪛗を𪛗に変更
M05428	𪛗	毛 5:巻 07 下.11b.g17 摘藻:巻 07 下.16a.g03			縦画を田に接触させた
M05443	𪛗	毛 5:巻 07 下.12a.g15 摘藻:巻 07 下.16b.g08			ヤマイダレの横画が欠けていたものを追加
M05528	𪛗	毛 5:巻 07 下.16a.g04 摘藻:巻 07 下.22a.g03			アミガシラが全体にかかるよう変更
M05532	𪛗, 𪛗	毛 5:巻 07 下.16a.g08 摘藻:巻 07 下.22a.g07			アミガシラが全体にかかるよう変更
M05595	𪛗	毛 5:巻 07 下.18b.g05 摘藻:巻 07 下.25b.g08			ケイガマエを他の部品にかからないよう変更
M05615	𪛗	毛 5:巻 07 下.19a.g12 摘藻:巻 07 下.27a.g01			𪛗が一画足りないものを修正

#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M05625	嘘	毛 5:巻 07 下.19b.g09 摘藻:巻 07 下.27b.g03			主になっていたものを半に修正
M05700	焦	毛 5:巻 08 上.03a.g02 摘藻:巻 08 上.03b.g07			火を削除
M05856	僭	毛 5:巻 08 上.08a.g10 摘藻:巻 08 上.11b.g07			縦画を下まで延ばした
M05857	僂	毛 5:巻 08 上.08a.g11 摘藻:巻 08 上.11b.g08			摘藻堂本は免を免に誤った
M05979	殷	毛 5:巻 08 上.14b.g04 摘藻:巻 08 上.20b.g02			月が正しく彫られていなかったものを修正
M05994	樓	毛 5:巻 08 上.15b.g01 摘藻:巻 08 上.21b.g05			女が正しく彫られていなかったものを修正
M06025	衤	毛 5:巻 08 上.16b.g03 摘藻:巻 08 上.23a.g06			它が心のようになっていたものを修正
M06032	裊	毛 5:巻 08 上.16b.g10 摘藻:巻 08 上.23b.g04			寸が一画多かったのを削除
M06034	襠, 襠	毛 5:巻 08 上.16b.g12 摘藻:巻 08 上.23b.g06			帝が全体にかかるよう修正
M06069	襃	毛 5:巻 08 上.18a.g04 摘藻:巻 08 上.25b.g02			目が一画足りないものを修正
M06237	籛, 籛	毛 5:巻 08 下.06a.g04 摘藻:巻 08 下.07b.g07			横画を分割した
M06270	覘	毛 5:巻 08 下.07a.g07 摘藻:巻 08 下.09a.g09			它を修正
M06348	余	毛 5:巻 08 下.10a.g05 摘藻:巻 08 下.13b.g04			今の字形を修正
M06356	灰, 灰	毛 5:巻 08 下.10b.g06 摘藻:巻 08 下.14b.g01			ガンダレを全体にかかるよう修正
M06369	顛	毛 5:巻 09 上.01b.g07 摘藻:巻 09 上.01b.g08			盧を修正
M06512	鬮	毛 5:巻 09 上.07b.g12 摘藻:巻 09 上.11a.g02			爾を変更
M06583	匍	毛 5:巻 09 上.12a.g02 摘藻:巻 09 上.16b.g03			用を修正
M06616	衆, 衆, 衆	毛 5:巻 09 上.13b.g14 摘藻:巻 09 上.19a.g09			水が連続していなかったのを修正
M06630	畏	毛 5:巻 09 上.14b.g02 摘藻:巻 09 上.20a.g05			畏を変更
M06696	崇	毛 5:巻 09 下.03a.g06 摘藻:巻 09 下.04a.g07			フカンムリをウカンムリに修正
M06870	疎	毛 5:巻 09 下.10a.g02 摘藻:巻 09 下.14b.g05			摘藻堂本は糸を書き誤った
M06881	鬮	毛 5:巻 09 下.10b.g05 摘藻:巻 09 下.15a.g05			爾を修正
M07034	驟	毛 5:巻 10 上.04a.g05 摘藻:巻 10 上.05b.g04			耳が全体にかかるよう修正
M07114	塵	毛 5:巻 10 上.07a.g09 摘藻:巻 10 上.09b.g12			主を修正
M07122	麗, 麗	毛 5:巻 10 上.07a.g17 摘藻:巻 10 上.10a.g08			横線を追加
M07161	猥	毛 5:巻 10 上.09b.g08 摘藻:巻 10 上.13a.g08			畏を変更
M07278	變, 變	毛 5:巻 10 上.14b.g10 摘藻:巻 10 上.20b.g07			京大本で不足していた横線を追加

#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M07300	煨	毛 5:巻 10 上.15b.g07 摘藻:巻 10 上.22a.g02			畏を変更
M07366	燭	毛 5:巻 10 上.17b.g09 摘藻:巻 10 上.25a.g05			欠筆
M07368	炫	毛 5:巻 10 上.17b.g11 摘藻:巻 10 上.25a.g07			欠筆
M07546	奕	毛 5:巻 10 下.07b.g02 摘藻:巻 10 下.10a.g02			大を区切った
M07559	端	毛 5:巻 10 下.08b.g03 摘藻:巻 10 下.11b.g01			而を変更
M07617	悃, 悃	毛 5:巻 10 下.11a.g02 摘藻:巻 10 下.15a.g01			禾を木に変更
M07706	瑟	毛 5:巻 10 下.13b.g13 摘藻:巻 10 下.19a.g08			欠筆
M07816	恻	毛 5:巻 10 下.17a.g11 摘藻:巻 10 下.24b.g03			力の字形を変更
M07872	懲	毛 5:巻 10 下.19a.g03 摘藻:巻 10 下.27a.g02			玄に誤っていた部分を壬に修正
M07914	漑	毛 5:巻 11 上.02b.g04 摘藻:巻 11 上.03a.g06			良の上の横画を削除
M07963	漑	毛 5:巻 11 上.04b.g07 摘藻:巻 11 上.06b.g05			丰丰の横画が連続しないよう修正
M07973	泄	毛 5:巻 11 上.05a.g04 摘藻:巻 11 上.07b.g01			世の字形を変更
M07997	治	毛 5:巻 11 上.06a.g05 摘藻:巻 11 上.09a.g04			ムを修正
M08001	渚	毛 5:巻 11 上.06a.g09 摘藻:巻 11 上.09b.g02			目を修正
M08047	濱	毛 5:巻 11 上.08a.g02 摘藻:巻 11 上.12a.g03			摘藻堂本の寅は筆写化
M08055	濱	毛 5:巻 11 上.08a.g10 摘藻:巻 11 上.12a.g11			摘藻堂本の寅は筆写化
M08061	法	毛 5:巻 11 上.08b.g01 摘藻:巻 11 上.12b.g06			欠筆
M08084	濱	毛 5:巻 11 上.09a.g10 摘藻:巻 11 上.13b.g09			云を修正
M08095	湍	毛 5:巻 11 上.09b.g08 摘藻:巻 11 上.14b.g01			而を変更
M08176	瀕	毛 5:巻 11 上.12b.g03 摘藻:巻 11 上.18b.g08			勺が全体にかからないよう縮小
M08183	瀾, 瀾, 瀾	毛 5:巻 11 上.12b.g10 摘藻:巻 11 上.19a.g05			筆を変更
M08262	瀕	毛 5:巻 11 上.15b.g01 摘藻:巻 11 上.23a.g10			函が誤っていたものを修正
M08290	渚	毛 5:巻 11 上.16a.g15 摘藻:巻 11 上.24b.g11			目を日に修正
M08461	滄	毛 5:巻 11 下.05a.g08 摘藻:巻 11 下.06b.g02			倉を修正
M08527	霰	毛 5:巻 11 下.07b.g03 摘藻:巻 11 下.10a.g05			雨カンムリを他の部品にかからないよう変更
M08578	鯉	毛 5:巻 11 下.09a.g16 摘藻:巻 11 下.13a.g05			丰丰が連続しないよう修正
M08726	關	毛 5:巻 12 上.05a.g03 摘藻:巻 12 上.08a.g08			目が一画足りないものを修正

#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M08767	闢	毛 5:巻 12 上.06a.g12 摘藻:巻 12 上.10a.g09			韋を幸に変更
M08830	拜, 拜, 拜	毛 5:巻 12 上.08b.g14 摘藻:巻 12 上.14a.g08			京大本は横画が右に抜けていない
M08844	枝	毛 5:巻 12 上.09a.g12 摘藻:巻 12 上.15a.g03			摘藻堂本は誤った連結
M08922	擗	毛 5:巻 12 上.11b.g07 摘藻:巻 12 上.18b.g05			帝が口を囲むよう変更
M08933	摘, 擗	毛 5:巻 12 上.12a.g03 摘藻:巻 12 上.19a.g07			帝が口を囲まないよう変更
M08946	掬	毛 5:巻 12 上.12b.g02 摘藻:巻 12 上.19b.g09			谷を修正
M09121	妘	毛 5:巻 12 下.01b.g06 摘藻:巻 12 下.01b.g06			云の変更
M09131	娶	毛 5:巻 12 下.02a.g01 摘藻:巻 12 下.02a.g07			耳を変更
M09198	媼	毛 5:巻 12 下.04a.g12 摘藻:巻 12 下.05b.g09			欠筆
M09249	媼, 媼	毛 5:巻 12 下.06a.g03 摘藻:巻 12 下.08a.g10			帝が口を囲うように変更
M09310	妍, 妍	毛 5:巻 12 下.08a.g03 摘藻:巻 12 下.11a.g08			干干が連続しないよう修正
M09321	婁	毛 5:巻 12 下.08a.g14 摘藻:巻 12 下.12a.g01			口の上に空白を入れた
M09325	媮	毛 5:巻 12 下.08b.g04 摘藻:巻 12 下.12a.g05			ケイガマエを他の部品にかからないよう変更
M09329	媮	毛 5:巻 12 下.08b.g08 摘藻:巻 12 下.12a.g09			口の上に空白をはさむ
M09481	駢	毛 5:巻 12 下.17a.g05 摘藻:巻 12 下.24a.g06			干干が連続しないよう修正
M09483	醜, 醜	毛 5:巻 12 下.17a.g07 摘藻:巻 12 下.24b.g01			トラガシラが皿にかからないよう変更
M09491	甌	毛 5:巻 12 下.17b.g06 摘藻:巻 12 下.25a.g02			トラガシラが全体にかからないよう変更
M09493	甌	毛 5:巻 12 下.17b.g08 摘藻:巻 12 下.25a.g04			カンムリが全体にかかるよう変更
M09503	甌	毛 5:巻 12 下.18a.g06 摘藻:巻 12 下.25b.g04			目が一画足りないものを修正
M09537	𠄎	毛 5:巻 12 下.19b.g07 摘藻:巻 12 下.27b.g03			ケイガマエを弓にかからないよう変更
M09549	𠄎	毛 5:巻 12 下.20a.g06 摘藻:巻 12 下.28b.g01			京大本の縦画を削除
M09550	𠄎, 𠄎	毛 5:巻 12 下.20a.g07 摘藻:巻 12 下.28b.g02			欠筆
M09551	𠄎	毛 5:巻 12 下.20a.g08 摘藻:巻 12 下.28b.g03			少でつながってしまった筆画を分離
M09637	𠄎	毛 5:巻 13 上.03b.g12 摘藻:巻 13 上.05a.g05			軀の中ほどの交差を削った
M09647	𠄎	毛 5:巻 13 上.04a.g04 摘藻:巻 13 上.05b.g04			ワカンムリを他の部品にかからないよう変更
M09714	𠄎	毛 5:巻 13 上.06a.g15 摘藻:巻 13 上.09a.g08			京大本の金の字形が特殊だが、そのまま写している
M09726	𠄎	毛 5:巻 13 上.06b.g09 摘藻:巻 13 上.09b.g08			重の上部が分裂しているのを接続した

#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M09746	𠄎	毛 5:巻 13 上.07a.g14 摘藻:巻 13 上.10b.g10			ナベブタを巾に変更
M09765	𠄎, 𠄎	毛 5:巻 13 上.07b.g16 摘藻:巻 13 上.11b.g08			用を修正
M09806	𠄎	毛 5:巻 13 上.09a.g07 摘藻:巻 13 上.13b.g08			丰丰の縦画を突き抜けないよう修正
M09850	𠄎	毛 5:巻 13 上.10b.g07 摘藻:巻 13 上.16a.g06			欠筆
M09858	率	毛 5:巻 13 上.11a.g05 摘藻:巻 13 上.17a.g01			欠筆
M09863	𠄎	毛 5:巻 13 上.11b.g05 摘藻:巻 13 上.17b.g04			莫の横画を点 2 つに修正
M09864	𠄎	毛 5:巻 13 上.11b.g06 摘藻:巻 13 上.17b.g05			寅を修正
M09997	𠄎	毛 5:巻 13 上.16a.g09 摘藻:巻 13 上.24b.g02			夫を修正
M10028	𠄎	毛 5:巻 13 上.17a.g11 摘藻:巻 13 上.26a.g06			正を壬に変更
M10032	𠄎	毛 5:巻 13 上.17b.g02 摘藻:巻 13 上.26b.g03			子が皿に接しないよう修正
M10045	𠄎	毛 5:巻 13 下.01b.g04 摘藻:巻 13 下.01b.g08			戈の横画が雀と交差しないよう修正
M10151	𠄎	毛 5:巻 13 下.06b.g13 摘藻:巻 13 下.09a.g06			盧を変更
M10212	𠄎	毛 5:巻 13 下.08b.g10 摘藻:巻 13 下.12a.g02			用を修正
M10295	𠄎	毛 5:巻 13 下.11a.g11 摘藻:巻 13 下.16a.g02			ワカンムリが全体にかからないよう変更
M10347	畜	毛 5:巻 13 下.13b.g08 摘藻:巻 13 下.19a.g05			欠筆
M10348	𠄎	毛 5:巻 13 下.13b.g09 摘藻:巻 13 下.19a.g06			欠筆
M10357	𠄎	毛 5:巻 13 下.14a.g07 摘藻:巻 13 下.20a.g01			而を変更
M10384	𠄎	毛 5:巻 13 下.15b.g06 摘藻:巻 13 下.21b.g08			六を分割
M10395	𠄎	毛 5:巻 13 下.15b.g17 摘藻:巻 13 下.22a.g09			世を変更
M10396	𠄎	毛 5:巻 13 下.16a.g01 摘藻:巻 13 下.22a.g10			果を変更
M10411	𠄎	毛 5:巻 13 下.16b.g02 摘藻:巻 13 下.23a.g05			京大本は差でなかったものを修正
M10432	𠄎	毛 5:巻 14 上.02a.g01 摘藻:巻 14 上.02a.g06			金を古文風に変更
M10478	𠄎	毛 5:巻 14 上.03a.g15 摘藻:巻 14 上.04a.g09			欠筆
M10537	𠄎	毛 5:巻 14 上.05a.g13 摘藻:巻 14 上.07a.g11			ケイガマエを他の部品にかからないよう変更
M10538	𠄎	毛 5:巻 14 上.05a.g14 摘藻:巻 14 上.07a.g12			ケイガマエを他の部品にかからないよう変更
M10540	𠄎	毛 5:巻 14 上.05a.g16 摘藻:巻 14 上.07b.g02			トラガシラを少しかかるように変更
M10605	銀	毛 5:巻 14 上.07b.g09 摘藻:巻 14 上.11a.g02			艮を変更

#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M10655	飢	毛 5:巻 14 上.10a.g07 摘藻:巻 14 上.14b.g04			畫を変更
M10706	輓	毛 5:巻 14 上.12a.g13 摘藻:巻 14 上.17b.g04			ケイガマエを他の部品にかからないよう変更
M10728	轂	毛 5:巻 14 上.13a.g05 摘藻:巻 14 上.18b.g08			ケイガマエを他の部品にかからないよう変更
M10763	輓	毛 5:巻 14 上.14a.g09 摘藻:巻 14 上.20b.g07			又を又に変更
M10789	輦	毛 5:巻 14 上.15a.g03 摘藻:巻 14 上.22a.g03			夫を変更
M10807	飢	毛 5:巻 14 下.01a.g05 摘藻:巻 14 下.01a.g05			力を変更

#	見出字	掲出箇所	毛 5	四	差異の状況
M10862	限	毛 5:巻 14 下.03a.g07 摘藻:巻 14 下.04a.g07			畏を変更
M10919	齡	毛 5:巻 14 下.05b.g05 摘藻:巻 14 下.07b.g04			齒を変更
M10951	丁	毛 5:巻 14 下.08b.g03 摘藻:巻 14 下.12a.g01			縦画が突き抜けないよう変更
M10982	毅	毛 5:巻 14 下.11b.g07 摘藻:巻 14 下.16a.g03			ケイガマエを他の部品にかからないよう変更
M11010	寅	毛 5:巻 14 下.13b.g03 摘藻:巻 14 下.18b.g01			ワカンムリをウカンムリに変更
M11019	午	毛 5:巻 14 下.15a.g02 摘藻:巻 14 下.20a.g02			縦画が突き抜けないよう変更

表 2: 四庫全書本(文淵閣本)と汲古閣本・汪啓淑本・述古堂本・祁寯藻本が別字になっているもの

最初の通し番号は祁寯藻本の見出し字を正文・重文を問わずに一律に振ったものである。表のうち「四」は文淵閣本、「汪」は汪啓淑本、「述」は述古堂本、「祁」は祁寯藻本である。それぞれの出所に關しては本文および参考文献を参照されたい。差異の状況には、文淵閣本の字形に対応する楷書(ただし、あくまでも字形の対応にすぎず、別字である場合が多いと思われる)と、それが通行の大徐本または小徐本に見えるかどうかを記した。つまり、「説文あり」としているのは、文淵閣本が示すものが、説文の中の別字と衝突していることを指す(ここでは合計で26個の衝突が見つかっている)。適切な楷書が無い場合はIDSによって示した。

#	見出し字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	祁	差異の状況
K03451	登	毛5巻05上.14b.g04 四巻09.20a.g05 鄭巻09.16a.g05						詳, 説文なし
K03453	聶	毛5巻05上.14b.g05 四巻09.20a.g07 鄭巻09.16b.g01						然, 説文あり
K03639	叻	毛5巻05下.05a.g05 四巻10.07a.g05 鄭巻10.05b.g14						置, 説文なし
K03663	恰	毛5巻05下.06b.g01 四巻10.08b.g02 鄭巻10.07a.g01						存?, 説文あり、しかし小篆字形は大幅に異なる
K03671	火	毛5巻05下.07a.g03 四巻10.05b.g02 鄭巻10.07b.g03						目/山, 説文なし
K03783	爰	毛5巻05下.14a.g02 四巻10.17b.g04 鄭巻10.15a.g05						目/囧/八/女, 説文なし
K03798	登	毛5巻05下.15a.g03 四巻10.18a.g03 鄭巻10.16a.g05						聲, 説文なし
K03819	韓	毛5巻05下.16a.g04 四巻10.20b.g03 鄭巻10.17a.g13						頤, 説文なし
K03848	籽	毛5巻06上.02a.g01 四巻11.02a.g07 鄭巻11.02a.g03						目/米?, 説文なし
K03873	穉	毛5巻06上.02b.g11 四巻11.04b.g03 鄭巻11.03b.g08						穉, 説文あり
K03984	穉	毛5巻06上.06a.g13 四巻11.11b.g04 鄭巻11.09a.g08						呆, 説文あり
K04050	穉、𦉰	毛5巻06上.08b.g02 四巻11.17b.g03 鄭巻11.14a.g01						穉, 説文あり
K04084	穉	毛5巻06上.09b.g08 四巻11.20a.g08 鄭巻11.16a.g05						穉, 説文なし

#	見出し字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	祁	差異の状況
K00181	𦉰	毛5巻01上.09a.g12 四巻01.19b.g04 鄭巻01.15b.g09						頤, 説文なし
K00458	𦉰	毛5巻01下.08a.g02 四巻02.15a.g07 鄭巻02.12a.g05						穉, 説文あり
K01040	𦉰	毛5巻02上.12a.g02 四巻03.16b.g02 鄭巻03.12b.g06						穉, 説文あり
K01193	𦉰	毛5巻02下.02b.g06 四巻04.03a.g03 鄭巻04.02b.g07						穉, 説文あり
K01225	𦉰	毛5巻02下.03b.g02 四巻04.04a.g12 鄭巻04.03b.g08						汪, 説文あり
K01349	𦉰	毛5巻02下.07b.g08 四巻04.11a.g03 鄭巻04.08b.g13						述, 説文なし
K01556	𦉰	毛5巻03上.02b.g02 四巻05.02b.g04 鄭巻05.02b.g01						汪, 説文あり
K01751	𦉰	毛5巻03上.09b.g05 四巻05.15a.g05 鄭巻05.12a.g05						頤/聲, 説文あり
K02806	𦉰	毛5巻04上.14b.g01 四巻07.20b.g04 鄭巻07.16b.g03						穉, 説文なし
K02757	𦉰	毛5巻04上.20b.g03 四巻07.20b.g05						目/日/力?, 説文なし
K02989	𦉰	毛5巻04下.11a.g02 四巻08.15b.g02 鄭巻08.12b.g10						穉, 説文なし
K03046	𦉰	毛5巻04下.13a.g04 四巻08.18b.g05 鄭巻08.15a.g06						穉, 説文なし
K03113	𦉰	毛5巻04下.15a.g06 四巻08.21b.g08 鄭巻08.17b.g07						頤, 説文あり。「𦉰」は「𦉰」の異体。説解ではこの対応になる
K03115	𦉰	毛5巻04下.15a.g07 四巻08.21b.g10 鄭巻08.17b.g09						頤, 説文あり。説解ではこの対応になる

#	見出し字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	耶	差異の状況
K06939	友	毛5巻10上.10b.g12 四巻19.12a.g09 附巻19.10b.g05	友	友	友	友	友	状, 説文あり
K07099	照, 𠄎	毛5巻10上.17a.g19 四巻19.20a.g14 附巻19.17a.g07	照	照	照	照	照	□, 説文なし
K07224	矢	毛5巻10下.03b.g02 四巻20.08a.g01 附巻20.02b.g02	大	大	大	大	大	矢, 説文あり
K07363	𠄎	毛5巻10下.11a.g12 四巻20.13a.g05 附巻20.10b.g10	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	恣, 説文あり
K07391	意	毛5巻10下.12a.g11 四巻20.14b.g02 附巻20.11b.g11	意	意	意	意	意	意, 説文あり
K07405	𠄎	毛5巻10下.12b.g10 四巻20.15a.g02 附巻20.12a.g11	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	愛, 説文あり
K07751	源, 𠄎	毛5巻11上.07a.g13 四巻21.15b.g07 附巻21.12b.g11	源	源	源	源	源	源, 説文なし
K07995	打, 𠄎	毛5巻11上.16a.g01 四巻21.28a.g04 附巻21.22a.g07	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文あり
K08454	𠄎	毛5巻12上.06a.g09 四巻23.07b.g09 附巻23.06b.g03	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K08565	𠄎	毛5巻12上.10a.g16 四巻23.10a.g02 附巻23.10b.g09	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K08806	婚	毛5巻12下.02a.g02 四巻24.02a.g10 附巻24.02a.g05	婚	婚	婚	婚	婚	婚, 説文あり
K08807	𠄎	毛5巻12下.02a.g03 四巻24.02a.g11 附巻24.02a.g07	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K08821	母	毛5巻12下.02b.g03 四巻24.03a.g03 附巻24.02b.g05	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	母, 説文なし
K09047	弗	毛5巻12下.10a.g07 四巻24.13b.g04 附巻24.11a.g04	弗	弗	弗	弗	弗	𠄎?, 説文あり
K09104	望	毛5巻12下.15a.g03 四巻24.18b.g04 附巻24.15a.g05	望	望	望	望	望	望, 説文なし
K09106	无	毛5巻12下.15a.g05 四巻24.18b.g05 附巻24.15a.g07	无	无	无	无	无	无, 无の箇所をこれと提出している。巻16に古 文で出てくるので御突

#	見出し字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	耶	差異の状況
K04775	𠄎	毛5巻07上.07b.g09 四巻13.11b.g02 附巻13.09b.g02	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎?, 説文なし
K04802	𠄎	毛5巻07上.09b.g05 四巻13.14b.g03 附巻13.12a.g03	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎多型, 説文なし
K04891	氣, 𠄎	毛5巻07上.19a.g11 四巻13.29b.g07 附巻13.25b.g14	氣	氣	氣	氣	氣	𠄎, 説文なし
K04892	𠄎	毛5巻07上.19a.g12 四巻13.29b.g08 附巻13.25b.g15	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K05076	𠄎	毛5巻07下.04b.g10 四巻14.05a.g07 附巻14.04b.g08	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K05393	𠄎	毛5巻07下.17b.g02 四巻14.25b.g01 附巻14.21a.g08	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎?, 説文なし
K05411	𠄎	毛5巻07下.18a.g05 四巻14.26a.g08 附巻14.22a.g03	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K05884	𠄎	毛5巻08上.18a.g13 四巻16.07a.g01 附巻16.05b.g04	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K06252	𠄎	毛5巻09上.04b.g05 四巻17.06a.g01 附巻17.05a.g01	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎は部首字と百の古文とㇿつあり、しかし四庫 全書本は百の古文の形に作る
K06560	𠄎	毛5巻09下.07a.g06 四巻18.09b.g02 附巻18.07b.g09	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 龍, 同音字書き換え?
K06577	𠄎	毛5巻09下.08a.g03 四巻18.11a.g02 附巻18.08b.g05	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K06581	𠄎	毛5巻09下.08b.g07 四巻18.11a.g06 附巻18.09a.g04	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K06583	𠄎	毛5巻09下.08a.g09 四巻18.11a.g08 附巻18.09a.g06	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K06597	𠄎	毛5巻09下.08b.g12 四巻18.12a.g05 附巻18.10a.g02	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし
K06679	𠄎	毛5巻09下.13b.g03 四巻18.16b.g08 附巻18.14a.g03	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	一面足りないのが意図的であれば、説文なし
K06677	𠄎	毛5巻10上.08a.g01 四巻19.09a.g01 附巻19.07b.g05	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎, 説文なし

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	禘	差異の状況
K03750	𠄎	毛5巻05下.11b.g10 四巻10.15a.g05 鄭巻10.13a.g05	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	十あり, 𠄎早圃, 説文なし
K03785	𠄎	毛5巻05下.14a.g04 四巻10.18a.g01 鄭巻10.15a.g07	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	口なし, 𠄎人𠄎心, 説文なし
K03788	𠄎	毛5巻05下.14a.g07 四巻10.18a.g04 鄭巻10.15b.g02	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	人あり, 𠄎, 説文なし
K03791	𠄎	毛5巻05下.14b.g02 四巻10.18b.g02 鄭巻10.15b.g05	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎なし, 𠄎𠄎音, 説文なし
K03818	𠄎	毛5巻05下.16a.g03 四巻10.20b.g02 鄭巻10.17a.g12	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎あり, 𠄎𠄎𠄎秋手, 説文なし
K03871	𠄎	毛5巻06上.02b.g09 四巻11.04b.g01 鄭巻11.03b.g05	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	又あり, 𠄎, 説文あり
K03985	𠄎	毛5巻06上.06a.g14 四巻11.11b.g05 鄭巻11.09a.g09	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	月なし, 𠄎木伍系, 説文なし
K04016	𠄎	毛5巻06上.07a.g12 四巻11.14b.g03 鄭巻11.11b.g05	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	虎なし, 𠄎, 説文なし
K04092	𠄎	毛5巻06上.08a.g14 四巻11.24a.g01 鄭巻11.15b.g03	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎あり, 𠄎, 説文なし
K04125	𠄎	毛5巻06上.11a.g05 四巻11.24a.g01 鄭巻11.18b.g11	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎あり, 𠄎木辭, 説文なし
K04173	𠄎	毛5巻06上.12b.g06 四巻11.27b.g02 鄭巻11.21b.g03	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	竹あり, 𠄎, 説文なし
K04194	𠄎	毛5巻06上.13a.g11 四巻11.29a.g05 鄭巻11.23a.g04	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	イあり, 𠄎木傍, 説文なし
K04292	𠄎	毛5巻06上.17a.g02 四巻11.30b.g02 鄭巻11.30b.g01	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎あり, 𠄎, 説文あり
K04406	𠄎	毛5巻06下.07b.g14 四巻12.12b.g06 鄭巻12.10b.g02	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎あり, 𠄎, 説文なし
K04542	𠄎	毛5巻06下.13a.g10 四巻12.23a.g05 鄭巻12.18a.g09	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎なし, 𠄎, 説文なし

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	禘	差異の状況
K02839	𠄎	毛5巻04下.05b.g08 四巻08.07a.g03 鄭巻08.06a.g04	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	竹あり, 𠄎夕簾, 説文なし
K03034	𠄎	毛5巻04下.12a.g11 四巻08.17b.g12 鄭巻08.14b.g09	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	果あり, 𠄎, 説文なし
K03044	𠄎	毛5巻04下.13a.g02 四巻08.18a.g03 鄭巻08.15a.g04	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	竹あり, 𠄎, 説文なし
K03137	𠄎	毛5巻04下.16b.g07 四巻08.23b.g04 鄭巻08.19a.g06	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	未なし, 𠄎, 説文あり
K03372	𠄎	毛5巻05上.09a.g01 四巻09.13a.g01 鄭巻09.10a.g08	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎なし, 𠄎𠄎, 説文なし
K03395	𠄎	毛5巻05上.10b.g01 四巻09.15a.g01 鄭巻09.12a.g01	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎𠄎※なし, 𠄎, 説文あり
K03425	𠄎	毛5巻05上.12b.g06 四巻09.18a.g04 鄭巻09.14b.g03	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	口なし, 𠄎, 説文なし
K03468	𠄎	毛5巻05上.15b.g07 四巻09.22b.g02 鄭巻09.17b.g05	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	人なし, 𠄎, 説文なし
K03475	𠄎	毛5巻05上.16a.g05 四巻09.22b.g02 鄭巻09.18a.g03	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎なし, 𠄎, 説文なし
K03476	𠄎	毛5巻05上.16a.g06 四巻09.22a.g12 鄭巻09.18a.g04	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎なし, 𠄎𠄎𠄎𠄎𠄎一𠄎三, 説文なし
K03506	𠄎	毛5巻05上.17b.g09 四巻09.24a.g12 鄭巻09.19b.g06	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎あり, 𠄎, 説文なし
K03573	𠄎	毛5巻05下.03a.g03 四巻10.04a.g04 鄭巻10.03b.g05	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎あり, 𠄎𠄎木巨𠄎, 説文なし
K03638	𠄎	毛5巻05下.05b.g06 四巻10.07a.g04 鄭巻10.05b.g13	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎なし, 𠄎, 説文なし
K03706	𠄎	毛5巻05下.08b.g07 四巻10.12a.g02 鄭巻10.09b.g02	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎あり, 𠄎, 説文なし
K03708	𠄎	毛5巻05下.08b.g09 四巻10.12a.g04 鄭巻10.09b.g04	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎あり, 𠄎, 説文なし

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	形	差異の状況
K07035	羨	毛5巻10上.15b.g02 四巻19.17b.g07 形巻19.15a.g02	羨	羨	羨	羨	羨	工あり,羨,説文なし
K07246	楨	毛5巻10下.04b.g10 四巻20.04b.g09 形巻20.04a.g05	楨	楨	楨	楨	楨	是なし,口九爪,説文なし
K07292	林	毛5巻10下.08a.g03 四巻20.08a.g02 形巻20.07a.g06	林	林	林	林	車あり,鞞,説文あり	
K07624	漣,瀧	毛5巻11上.02a.g01 四巻21.03b.g02 形巻21.03a.g02	漣	漣	漣	漣	リなし,口彳,説文なし	
K07743	漣	毛5巻11上.07a.g05 四巻21.15a.g05 形巻21.12b.g03	漣	漣	漣	漣	左あり,漣,説文あり	
K07786	流	毛5巻11上.08a.g02 四巻21.17b.g01 形巻21.14a.g01	流	流	流	流	ミあり,漣,説文なし	
K08037	河	毛5巻11上.17a.g14 四巻21.30a.g09 形巻21.23b.g11	河	河	河	河	可なし,河,説文あり	
K08040	酒	毛5巻11上.17b.g03 四巻21.30a.g12 形巻21.23b.g14	酒	酒	酒	酒	土あり,漣,説文あり	
K08069	壘	毛5巻11上.18a.g13 四巻21.31b.g02 形巻21.24b.g10	壘	壘	壘	壘	土なし,漣,説文あり	
K08151	煉,燥	毛5巻11下.04b.g08 四巻22.06a.g03 形巻22.04a.g05	煉	煉	煉	煉	戸なし,燥,説文なし	
K08184	霰	毛5巻11下.06a.g04 四巻22.06a.g09 形巻22.06a.g05	霰	霰	霰	霰	月なし,霰,説文なし	
K08195	霰,霰	毛5巻11下.06a.g15 四巻22.07a.g09 形巻22.06a.g07	霰	霰	霰	霰	从なし,霰,説文なし	
K08301	鈔	毛5巻11下.10a.g09 四巻23.13a.g09 形巻22.09b.g14	鈔	鈔	鈔	鈔	彳なし,鯨,説文なし	
K08406	塙	毛5巻12上.04b.g06 四巻23.03b.g02 形巻23.04b.g07	塙	塙	塙	塙	門なし,塙,説文なし	
K08408	闔	毛5巻12上.04b.g08 四巻23.05b.g04 形巻23.04b.g09	闔	闔	闔	闔	弓なし,回門壘,説文なし	

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	形	差異の状況
K05190	癩	毛5巻07下.09b.g01 四巻14.12b.g01 形巻14.11a.g01	癩	癩	癩	癩	癩	目皿一なし,癩,説文なし
K05193	癩	毛5巻07下.09b.g04 四巻14.13a.g03 形巻14.11a.g04	癩	癩	癩	癩	癩	目皿一なし,音,説文あり
K05194	癩	毛5巻07下.09b.g05 四巻14.13a.g03 形巻14.11a.g05	癩	癩	癩	癩	癩	目皿一なし,目皿一,女,説文なし
K05255	疔,疔	毛5巻07下.11b.g10 四巻14.16a.g04 形巻14.13b.g10	疔	疔	疔	疔	疔	人なし,癩,説文なし
K05293	瘰	毛5巻07下.12b.g14 四巻14.18a.g09 形巻14.15b.g02	瘰	瘰	瘰	瘰	生あり,回疔,日各生,説文なし	
K05339	蹠	毛5巻07下.15a.g10 四巻14.22a.g05 形巻14.18b.g10	蹠	蹠	蹠	蹠	网あり,蹠,説文なし	
K05420	蹠	毛5巻07下.18a.g14 四巻14.26b.g07 形巻14.22a.g12	蹠	蹠	蹠	蹠	リなし,日舟中,説文なし	
K05631	僦,僦	毛5巻08上.06b.g04 四巻15.06a.g09 形巻15.06a.g02	僦	僦	僦	僦	++なし,目イ,日屯,説文なし	
K05899	瘵	毛5巻08上.18b.g14 四巻16.07b.g04 形巻16.06a.g04	瘵	瘵	瘵	瘵	++あり,義,説文なし	
K05901	卒,卒	毛5巻08上.18b.g16 四巻16.07b.g06 形巻16.06a.g06	卒	卒	卒	卒	衣あり,卒,説文なし	
K06324	髻	毛5巻09上.08b.g01 四巻17.10b.g05 形巻17.09a.g08	髻	髻	髻	髻	++なし,髻,説文なし	
K06375	髻	毛5巻09上.12b.g11 四巻17.15a.g03 形巻17.12b.g01	髻	髻	髻	髻	勺あり,髻,説文なし	
K06633	髻,髻	毛5巻09下.10b.g04 四巻18.13b.g04 形巻18.11a.g07	髻	髻	髻	髻	隶なし,髻,説文なし	
K06860	熨	毛5巻10上.07a.g08 四巻19.08a.g04 形巻19.06b.g17	熨	熨	熨	熨	目皿一あり,回鹿,説文なし	
K07021	熨	毛5巻10上.14b.g11 四巻19.17a.g04 形巻19.14b.g03	熨	熨	熨	熨	++あり,熨,説文あり	

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	禛	差異の状況
K09629	蚕	毛5巻13上.15a.g13 四巻25.16b.g09 附巻25.13a.g10						口あり, 蚕, 説文なし
K09858	葉	毛5巻13下.08b.g12 四巻26.05b.g07 附巻26.04b.g11						+なし, 葉, 説文なし
K09894	壘	毛5巻13下.09b.g14 四巻26.07a.g08 附巻26.06a.g01						八なし, 壘, 説文なし
K10120	鋼	毛5巻14上.04a.g01 四巻27.05a.g02 附巻27.04a.g08						彳なし, 鋼, 説文なし
K10154	鉞	毛5巻14上.05a.g04 四巻27.06a.g13 附巻27.05a.g12						又あり, 鉞, 説文なし
K10223	鈇	毛5巻14上.07b.g02 四巻27.09b.g04 附巻27.07b.g07						力あり, 鈇, 説文なし
K10375	範	毛5巻14上.14a.g01 四巻27.17b.g03 附巻27.14a.g12						竹なし, 範, 説文なし
K10465	陞	毛5巻14下.02b.g08 四巻28.03b.g03 附巻28.03a.g03						阝なし, 坊, 説文あり
K10500	陞	毛5巻14下.03b.g12 四巻28.05a.g01 附巻28.04a.g06						土なし, 陞, 説文なし
K10572	疊	毛5巻14下.09b.g02 四巻28.12a.g03 附巻28.10a.g03						己なし, 丞, 説文なし
K10646	醪	毛5巻14下.16a.g04 四巻28.20b.g04 附巻28.17b.g01						业なし, 醪, 説文なし
K10664	醬	毛5巻14下.16b.g14 四巻28.21b.g06 附巻28.18a.g05						亏なし, 醬, 説文なし
K10705	醬	毛5巻14下.18a.g10 四巻28.23b.g05 附巻28.19b.g05						寸あり, 醬, 説文なし

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	禛	差異の状況
K08431	關	毛5巻12上.05b.g02 四巻23.06b.g07 附巻23.05b.g05						畜なし, 關, 説文なし
K08588	前	毛5巻12上.10b.g10 四巻23.14a.g12 附巻23.11b.g03						冫なし, 冫, 説文なし
K08775	摩	毛5巻12上.16b.g16 四巻23.21a.g12 附巻23.17a.g13						非なし, 摩, 説文なし
K08873	嬌	毛5巻12下.04b.g13 四巻24.05b.g04 附巻24.04b.g06						βなし, 嬌, 説文あり
K08977	姁	毛5巻12下.07b.g12 四巻24.10a.g04 附巻24.08a.g10						匚なし, 姁, 説文なし
K09016	嫩	毛5巻12下.09b.g06 四巻24.11b.g09 附巻24.09b.g05						八なし, 嫩, 説文なし
K09171	藝	毛5巻12下.18a.g09 四巻24.22b.g09 附巻24.18b.g06						頭なし, 藝, 説文なし
K09263	𦉳	毛5巻13上.02b.g09 四巻25.02b.g10 附巻25.02a.g18						邑あり, 累, 大徐および郭高義は口を含まないため正確には「𦉳」ではない。四庫全書本とは違うが汪啓淑本、述古堂本とは同じ。宋本玉篇は「𦉳」を示す。玉篇残巻・篆隸萬象名義は「𦉳」人口刀糸」。小徐原本ではなくて楷書から来ている可能性がある。
K09309	綺	毛5巻13上.04b.g03 四巻25.04a.g11 附巻25.03b.g05						一あり, 一, 糸奇, 説文なし
K09375	暴	毛5巻13上.06a.g13 四巻25.06b.g13 附巻25.05b.g05						米あり, 一, 糸暴, 説文なし
K09478	𦉳	毛5巻13上.09a.g16 四巻25.10a.g15 附巻25.08a.g14						心あり, 總, 説文なし。ただし「總」ならあり。

表 4: 四庫全書本(文淵閣本)と汲古閣本・汪啓淑本・述古堂本・祈齋藻本で構造が異なるもの

最初の通し番号は祈齋藻本の見出し字を正文・重文を問わずに一樣に振ったものである。表のうち「四」は文淵閣本、「汪」は汪啓淑本、「述」は述古堂本、「祈」は祈齋藻本である。それぞれの出所に関しては本文および参考文献を参照されたい。紙幅の制限のため、文淵閣本の字形に対応する楷書は略した。伝写の過程で、他本の字形から文淵閣本の字形へ連続的な変化が困難と思われるものについては、連続性の欄に「×」を書き入れている。

#	見出し	掲出箇所	毛5	四	汪	述	祈	連続性
K00078	禱	毛5巻01上.04b.g02 四巻01.08a.g08 祈巻01.07b.g08	禱	禱	禱	禱	禱	×
K00135	壁	毛5巻01上.07b.g06 四巻01.14b.g06 祈巻01.12a.g01	壁	壁	壁	壁	壁	×
K00149	瑠	毛5巻01上.08a.g06 四巻01.16a.g04 祈巻01.15a.g05	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	×
K00191	塹	毛5巻01上.09b.g07 四巻01.20a.g04 祈巻01.18a.g05	塹	塹	塹	塹	塹	×
K00240	塹	毛5巻01上.11a.g13 四巻01.23a.g05 祈巻01.18a.g08	塹	塹	塹	塹	塹	×
K00580	荏	毛5巻01下.11b.g12 四巻02.22b.g06 祈巻02.17b.g13	荏	荏	荏	荏	荏	×
K00823	隼	毛5巻02上.04a.g14 四巻03.05b.g07 祈巻03.04b.g05	隼	隼	隼	隼	隼	×
K00883	鷲	毛5巻02上.07b.g07 四巻03.08b.g13 祈巻03.07a.g02	鷲	鷲	鷲	鷲	鷲	×
K00915	和, 呌	毛5巻02上.08a.g05 四巻03.10a.g05 祈巻03.07b.g17	和	和	和	和	和	×
K01412	臙	毛5巻02下.10a.g14 四巻04.14b.g13 祈巻04.11b.g16	臙	臙	臙	臙	臙	×
K01447	燈	毛5巻02下.11b.g13 四巻04.16b.g08 祈巻04.13a.g11	燈	燈	燈	燈	燈	×
K01549	皓	毛5巻03上.02a.g01 四巻05.02a.g02 祈巻05.01b.g06	皓	皓	皓	皓	皓	×
K01711	警	毛5巻03上.08b.g03 四巻05.12b.g10 祈巻05.10a.g14	警	警	警	警	警	×
K01759	嘗	毛5巻03上.09b.g13 四巻05.15b.g05 祈巻05.12b.g04	嘗	嘗	嘗	嘗	嘗	×
K01804	簪	毛5巻03上.11a.g13 四巻05.15b.g01 祈巻05.11a.g12	簪	簪	簪	簪	簪	×
K01809	鑿	毛5巻03上.11a.g02 四巻05.15b.g05 祈巻05.11a.g04	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	×
K01867	楯	毛5巻03上.13a.g09 四巻05.20b.g08 祈巻05.10a.g02	楯	楯	楯	楯	楯	×
K01878	草	毛5巻03上.14a.g05 四巻05.21b.g05 祈巻05.11a.g05	草	草	草	草	草	×
K01970	蕪	毛5巻03下.02a.g07 四巻06.04a.g05 祈巻06.03b.g04	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	×
K01985	羶	毛5巻03下.02b.g05 四巻06.05a.g04 祈巻06.04a.g08	羶	羶	羶	羶	羶	×
K01996	羶	毛5巻03下.02b.g16 四巻06.05b.g06 祈巻06.04a.g10	羶	羶	羶	羶	羶	×
K02330	眇, 眇	毛5巻04上.02a.g02 四巻07.02a.g05 祈巻07.02a.g01	眇	眇	眇	眇	眇	×
K02365	道	毛5巻04上.02a.g05 四巻07.04a.g02 祈巻07.03a.g10	道	道	道	道	道	×
K02369	眇	毛5巻04上.02a.g09 四巻07.04a.g02 祈巻07.03b.g05	眇	眇	眇	眇	眇	×
K02446	昔	毛5巻04上.02b.g03 四巻07.06a.g08 祈巻07.06a.g03	昔	昔	昔	昔	昔	×
K02486	袂	毛5巻04上.02b.g08 四巻07.12a.g04 祈巻07.09b.g05	袂	袂	袂	袂	袂	×
K02492	翺	毛5巻04上.08b.g14 四巻07.12b.g01 祈巻07.10a.g01	翺	翺	翺	翺	翺	×
K02501	翺, 翺	毛5巻04上.08b.g09 四巻07.13a.g02 祈巻07.10a.g10	翺	翺	翺	翺	翺	×
K02525	銛	毛5巻04上.10a.g04 四巻07.13a.g01 祈巻07.12a.g01	銛	銛	銛	銛	銛	×
K02558	隼	毛5巻04上.11a.g10 四巻07.14b.g10 祈巻07.13a.g04	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02563	隼	毛5巻04上.11a.g15 四巻07.15b.g09 祈巻07.13a.g09	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02584	隼	毛5巻04上.12a.g04 四巻07.16a.g04 祈巻07.15b.g01	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02603	隼	毛5巻04上.14a.g10 四巻07.18a.g10 祈巻07.16a.g10	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02636	隼	毛5巻04上.16a.g09 四巻07.20a.g09 祈巻07.18a.g09	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02652	隼	毛5巻04上.17a.g07 四巻07.21a.g09 祈巻07.19a.g09	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02655	隼	毛5巻04上.17a.g10 四巻07.21a.g09 祈巻07.20a.g02	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02656	隼	毛5巻04上.17a.g11 四巻07.21a.g11 祈巻07.20a.g03	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02683	隼	毛5巻04上.18a.g05 四巻07.22a.g02 祈巻07.21a.g02	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02685	隼	毛5巻04上.18a.g07 四巻07.22a.g04 祈巻07.21a.g04	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02689	隼	毛5巻04上.18a.g11 四巻07.22a.g09 祈巻07.21a.g05	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02692	隼	毛5巻04上.18a.g14 四巻07.22b.g03 祈巻07.21a.g11	隼	隼	隼	隼	隼	×
K02699	隼	毛5巻04上.18b.g05 四巻07.22b.g10 祈巻07.21b.g05	隼	隼	隼	隼	隼	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	通融性
K03481	𦵏	毛5巻05上16a,g11 四巻09.23a,g01 附巻09.15a,g09	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03482	𦵏	毛5巻05上16b,g01 四巻09.23a,g02 附巻09.15b,g01	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03483	𦵏	毛5巻05上16b,g02 四巻09.23a,g03 附巻09.15b,g02	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03486	𦵏	毛5巻05上16b,g05 四巻09.23a,g06 附巻09.15b,g05	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03490	𦵏	毛5巻05上17a,g09 四巻09.23a,g10 附巻09.15b,g09	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03503	𦵏	毛5巻05上17b,g06 四巻09.23a,g09 附巻09.15b,g06	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03512	𦵏	毛5巻05上17b,g15 四巻09.23b,g05 附巻09.15b,g12	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03515	𦵏	毛5巻05上18a,g01 四巻09.23b,g08 附巻09.15b,g15	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03589	𦵏	毛5巻05上18b,g09 四巻10.05b,g06 附巻10.04a,g10	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03591	𦵏	毛5巻05上18b,g11 四巻10.05b,g08 附巻10.04a,g12	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03598	𦵏	毛5巻05下03b,g16 四巻10.05b,g04 附巻10.04b,g09	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03608	𦵏	毛5巻05下04b,g14 四巻10.05b,g05 附巻10.04b,g15	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03629	𦵏	毛5巻05下04b,g12 四巻10.05b,g04 附巻10.05b,g04	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03690	𦵏	毛5巻05下07b,g13 四巻10.05b,g05 附巻10.05b,g02	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03691	𦵏	毛5巻05下07b,g14 四巻10.05b,g06 附巻10.05b,g03	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03866	𦵏	毛5巻06上02b,g04 四巻11.05a,g02 附巻11.05a,g02	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	通融性
K02941	𦵏	毛5巻04下10a,g17 四巻09.15b,g07 附巻09.15b,g07	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02975	胡	毛5巻04下10b,g02 四巻09.15b,g08 附巻09.15b,g05	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03037	𦵏	毛5巻04下12a,g14 四巻09.15b,g03 附巻09.15b,g12	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03050	𦵏	毛5巻04下13a,g08 四巻09.15b,g03 附巻09.15b,g03	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03109	𦵏	毛5巻04下13a,g02 四巻09.15b,g04 附巻09.17b,g03	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03163	𦵏	毛5巻04下13a,g01 四巻09.15b,g07 附巻09.15a,g13	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03246	𦵏	毛5巻05上02b,g01 四巻09.15b,g04 附巻09.15a,g04	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03370	𦵏	毛5巻05上08b,g05 四巻09.15b,g06 附巻09.15a,g06	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03396	𦵏	毛5巻05上10b,g02 四巻09.15b,g02 附巻09.15a,g02	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03417	𦵏	毛5巻05上12a,g05 四巻09.17a,g06 附巻09.14a,g03	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03437	𦵏	毛5巻05上13b,g06 四巻09.15b,g06 附巻09.15a,g07	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03438	𦵏	毛5巻05上13b,g07 四巻09.15b,g08 附巻09.15a,g08	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03470	𦵏	毛5巻05上13b,g09 四巻09.22b,g06 附巻09.17b,g07	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03477	𦵏	毛5巻05上16a,g07 四巻09.15b,g04 附巻09.15a,g05	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03479	𦵏	毛5巻05上16a,g09 四巻09.22b,g07 附巻09.15a,g07	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K03480	𦵏	毛5巻05上16a,g10 四巻09.22b,g05 附巻09.15a,g05	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	通融性
K02700	𦵏	毛5巻04上18b,g06 四巻07.29b,g11 附巻07.21b,g06	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02716	𦵏	毛5巻04上18b,g01 四巻07.27b,g08 附巻07.22b,g07	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02717	𦵏	毛5巻04上18a,g03 四巻07.27b,g05 附巻07.22b,g08	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02720	𦵏	毛5巻04上18a,g06 四巻07.27b,g08 附巻07.22b,g11	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02723	𦵏	毛5巻04上18a,g09 四巻07.27b,g11 附巻07.22b,g14	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02725	𦵏	毛5巻04上18a,g11 四巻07.27b,g13 附巻07.22b,g16	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02740	𦵏	毛5巻04上18b,g10 四巻07.29b,g03 附巻07.22b,g14	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02745	𦵏	毛5巻04上20a,g01 四巻07.29b,g08 附巻07.23b,g05	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02753	𦵏	毛5巻04上20b,g09 四巻07.29b,g08 附巻07.23b,g01	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02754	𦵏	毛5巻04上18a,g03 四巻07.29b,g09 附巻07.23b,g02	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02804	𦵏	毛5巻04下04a,g06 四巻08.06a,g03 附巻08.04a,g05	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02828	𦵏	毛5巻04下05a,g08 四巻08.06a,g09 附巻08.05b,g04	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02849	𦵏	毛5巻04下06a,g02 四巻08.07b,g02 附巻08.06b,g02	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02850	𦵏	毛5巻04下06b,g03 四巻08.07b,g03 附巻08.06b,g03	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02887	𦵏	毛5巻04下07b,g09 四巻08.09b,g07 附巻08.08a,g07	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×
K02923	𦵏	毛5巻04下08a,g15 四巻08.12a,g01 附巻08.09b,g11	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	通融性
K05895	齋	毛5巻 08上.18a.g08 四巻 16.07a.g12 部巻 16.00a.g13	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05905	念	毛5巻 08上.17a.g08 四巻 16.08a.g03 部巻 16.00a.g10	念	念	念	念	念	×
K05912	象	毛5巻 08上.18a.g09 四巻 16.08a.g10 部巻 16.00a.g15	象	象	象	象	象	×
K05915	齋	毛5巻 08上.16a.g03 四巻 16.08a.g08 部巻 16.00a.g15	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05933	齋	毛5巻 08上.21a.g02 四巻 16.10a.g03 部巻 16.00a.g13	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06028	齋	毛5巻 08下.06a.g04 四巻 16.17a.g03 部巻 16.10a.g13	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06051	齋	毛5巻 08下.06b.g12 四巻 16.18a.g05 部巻 16.10a.g07	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06111	齋	毛5巻 08下.08a.g10 四巻 16.21a.g05 部巻 16.17a.g02	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06113	齋	毛5巻 08下.06a.g12 四巻 16.21a.g07 部巻 16.17a.g04	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06193	齋	毛5巻 09上.02a.g06 四巻 17.00a.g01 部巻 17.02a.g07	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06210	齋	毛5巻 09上.03a.g07 四巻 17.00a.g01 部巻 17.00a.g11	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06211	齋	毛5巻 09上.03a.g08 四巻 17.00a.g02 部巻 17.00a.g12	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06261	齋	毛5巻 09上.03a.g01 四巻 17.07a.g01 部巻 17.00a.g04	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06262	齋	毛5巻 09上.05a.g02 四巻 17.07a.g02 部巻 17.02a.g05	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06267	齋	毛5巻 09上.00a.g02 四巻 17.07b.g02 部巻 17.00a.g04	齋	齋	齋	齋	齋	×
K06268	齋	毛5巻 09上.00a.g03 四巻 17.07b.g03 部巻 17.00a.g05	齋	齋	齋	齋	齋	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	通融性
K04946	齋	毛5巻 07上.17a.g01 四巻 13.27a.g05 部巻 13.22a.g05	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04961	齋	毛5巻 07上.15a.g06 四巻 13.28a.g04 部巻 13.24a.g04	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04977	齋	毛5巻 07上.18a.g14 四巻 13.29a.g06 部巻 13.25a.g12	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04981	齋	毛5巻 07上.19a.g01 四巻 13.29a.g10 部巻 13.25a.g04	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05107	齋	毛5巻 07上.10a.g10 四巻 14.08a.g13 部巻 14.00a.g02	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05220	齋	毛5巻 07下.10a.g08 四巻 14.14a.g05 部巻 14.12a.g02	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05321	齋	毛5巻 07下.14a.g08 四巻 14.17a.g03 部巻 14.17a.g05	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05323	齋	毛5巻 07下.14a.g01 四巻 14.21a.g04 部巻 14.17a.g05	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05336	齋	毛5巻 07下.15a.g09 四巻 14.22a.g04 部巻 14.18a.g05	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05399	齋	毛5巻 07下.17a.g09 四巻 14.23a.g07 部巻 14.21a.g06	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05413	齋	毛5巻 07下.18a.g10 四巻 14.23a.g10 部巻 14.22a.g05	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05417	齋	毛5巻 07下.18a.g13 四巻 14.23a.g06 部巻 14.21a.g09	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05730	齋	毛5巻 08上.08a.g15 四巻 16.03a.g04 部巻 15.13a.g05	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05822	齋	毛5巻 08上.16a.g07 四巻 16.03a.g06 部巻 16.03a.g07	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05856	齋	毛5巻 08上.17a.g14 四巻 16.03a.g04 部巻 16.04a.g04	齋	齋	齋	齋	齋	×
K05893	齋	毛5巻 08上.18a.g06 四巻 16.07a.g10 部巻 16.03a.g13	齋	齋	齋	齋	齋	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	通融性
K03970	齋	毛5巻 06上.02b.g15 四巻 11.10a.g06 部巻 11.08b.g04	齋	齋	齋	齋	齋	×
K03973	齋	毛5巻 06上.06a.g02 四巻 11.10a.g06 部巻 11.08b.g07	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04010	齋	毛5巻 06上.07a.g06 四巻 11.14a.g03 部巻 11.11a.g03	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04163	齋	毛5巻 06上.12a.g11 四巻 11.26a.g01 部巻 11.20a.g08	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04180	齋	毛5巻 06上.12b.g13 四巻 11.28a.g05 部巻 11.22a.g06	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04238	齋	毛5巻 06上.14b.g11 四巻 11.29a.g07 部巻 11.27a.g06	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04348	齋	毛5巻 06下.05a.g01 四巻 12.07a.g03 部巻 12.06b.g01	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04398	齋	毛5巻 06下.07b.g06 四巻 12.12a.g06 部巻 12.10a.g02	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04473	齋	毛5巻 06下.10a.g07 四巻 12.18a.g07 部巻 12.14a.g06	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04530	齋	毛5巻 06下.12b.g12 四巻 12.22a.g01 部巻 12.17a.g06	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04671	齋	毛5巻 07上.02a.g08 四巻 13.02a.g08 部巻 13.02a.g11	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04680	齋	毛5巻 07上.02b.g03 四巻 13.03a.g02 部巻 13.02b.g09	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04771	齋	毛5巻 07上.07b.g05 四巻 13.11a.g05 部巻 13.09a.g06	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04863	齋	毛5巻 07上.14a.g03 四巻 13.21a.g05 部巻 13.18a.g05	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04895	齋	毛5巻 07上.15a.g02 四巻 13.22a.g04 部巻 13.19b.g08	齋	齋	齋	齋	齋	×
K04899	齋	毛5巻 07上.15a.g06 四巻 13.22a.g08 部巻 13.20a.g02	齋	齋	齋	齋	齋	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	通融性
K06352	印	毛5巻9上.10a.g09 四巻17.10a.g03 附巻17.11a.g01	印	印	印	印	𠂔	×
K06352	𠂔	毛5巻9上.11a.g03 四巻17.11a.g03 附巻17.11b.g04	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06404	𠂔	毛5巻9上.14a.g05 四巻17.17a.g09 附巻17.14a.g11	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06440	𠂔	毛5巻9下.02a.g02 四巻15.02a.g01 附巻15.02a.g10	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06460	𠂔	毛5巻9下.02b.g05 四巻15.02b.g03 附巻15.02a.g03	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06470	𠂔	毛5巻9下.03a.g01 四巻15.03a.g03 附巻15.03a.g13	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06570	𠂔	毛5巻9下.07b.g02 四巻15.07a.g02 附巻15.08a.g05	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06571	𠂔	毛5巻9下.07b.g02 四巻15.07a.g02 附巻15.08a.g05	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06664	𠂔	毛5巻9下.12b.g07 四巻15.12a.g03 附巻15.12a.g05	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06746	𠂔	毛5巻10上.02b.g07 四巻19.02a.g03 附巻19.02b.g05	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06757	𠂔	毛5巻10上.03a.g04 四巻19.03a.g04 附巻19.03a.g04	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06847	𠂔	毛5巻10上.05b.g07 四巻19.07a.g04 附巻19.05b.g04	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06879	𠂔	毛5巻10上.08a.g03 四巻19.08a.g03 附巻19.07b.g07	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K07000	𠂔	毛5巻10上.13b.g01 四巻19.13a.g03 附巻19.13a.g12	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K07027	𠂔	毛5巻10上.13a.g07 四巻19.17a.g10 附巻19.13b.g09	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K07039	𠂔	毛5巻10上.15b.g06 四巻19.17a.g11 附巻19.15a.g08	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	通融性
K06310	𠂔	毛5巻9上.08a.g06 四巻17.10a.g04 附巻17.08a.g04	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06311	𠂔	毛5巻9上.08a.g07 四巻17.10a.g05 附巻17.08a.g05	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06315	𠂔	毛5巻9上.08a.g11 四巻17.10a.g08 附巻17.08a.g09	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06316	𠂔	毛5巻9上.08a.g12 四巻17.10a.g02 附巻17.08a.g10	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06317	𠂔	毛5巻9上.08a.g13 四巻17.10a.g03 附巻17.08a.g11	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06318	𠂔	毛5巻9上.08a.g14 四巻17.10a.g04 附巻17.08a.g12	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	×
K06319	𠂔	毛5巻9上.08a.g15 四巻17.10a.g05 附巻17.08a.g13	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06320	𠂔	毛5巻9上.08a.g17 四巻17.10a.g06 附巻17.08a.g14	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06321	𠂔	毛5巻9上.08a.g16 四巻17.10a.g05 附巻17.08a.g13	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06322	𠂔	毛5巻9上.08a.g17 四巻17.10a.g06 附巻17.08a.g14	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06325	𠂔	毛5巻9上.08a.g02 四巻17.10a.g01 附巻17.08a.g01	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06326	𠂔	毛5巻9上.08a.g03 四巻17.10a.g11 附巻17.08a.g10	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06327	𠂔	毛5巻9上.08a.g04 四巻17.10a.g12 附巻17.08a.g11	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06328	𠂔	毛5巻9上.08a.g05 四巻17.10a.g13 附巻17.08a.g12	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06329	𠂔	毛5巻9上.08b.g06 四巻17.10a.g14 附巻17.08a.g13	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06330	𠂔	毛5巻9上.08b.g08 四巻17.11a.g01 附巻17.08a.g14	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	通融性
K06269	𠂔	毛5巻9上.08a.g04 四巻17.07b.g04 附巻17.06a.g06	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06281	𠂔	毛5巻9上.07b.g11 四巻17.08a.g05 附巻17.07a.g02	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06294	𠂔	毛5巻9上.07b.g07 四巻17.08a.g05 附巻17.07a.g11	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06296	𠂔	毛5巻9上.07b.g09 四巻17.08a.g01 附巻17.06a.g01	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06297	𠂔	毛5巻9上.07b.g10 四巻17.08a.g02 附巻17.08a.g02	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06298	𠂔	毛5巻9上.07b.g11 四巻17.08a.g03 附巻17.08a.g03	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06299	𠂔	毛5巻9上.07b.g12 四巻17.08a.g04 附巻17.08a.g04	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06300	𠂔	毛5巻9上.07b.g13 四巻17.08a.g05 附巻17.08a.g05	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06301	𠂔	毛5巻9上.07b.g14 四巻17.08a.g06 附巻17.08a.g06	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06302	𠂔	毛5巻9上.07b.g15 四巻17.08a.g07 附巻17.08a.g07	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06304	𠂔	毛5巻9上.07b.g17 四巻17.08a.g08 附巻17.06a.g09	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06305	𠂔	毛5巻9上.08a.g01 四巻17.08a.g09 附巻17.08a.g10	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06306	𠂔	毛5巻9上.08a.g02 四巻17.10a.g10 附巻17.08a.g11	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06307	𠂔	毛5巻9上.08a.g03 四巻17.10a.g01 附巻17.08a.g01	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06308	𠂔	毛5巻9上.08a.g04 四巻17.10a.g02 附巻17.08a.g02	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
K06309	𠂔	毛5巻9上.08a.g05 四巻17.10a.g03 附巻17.08a.g03	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	禱	通融性
K07571	鹹	毛5巻10下17a,g15 四巻20.21b,g05 配巻20.17b,g06	鹹	鹹	鹹	鹹	鹹	×
K07577	恣	毛5巻10下15a,g06 四巻20.21b,g10 配巻20.17b,g12	恣	恣	恣	恣	恣	×
K07718	頰	毛5巻11上40b,g13 四巻21.13a,g07 配巻21.10a,g02	頰	頰	頰	頰	頰	
K07738	瘡	毛5巻11上40b,g12 四巻21.13a,g06 配巻21.13a,g03	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	
K07852	瘡	毛5巻11上40b,g13 四巻21.20a,g04 配巻21.10a,g02	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	
K07899	瘡	毛5巻11上40b,g13 四巻21.20a,g04 配巻21.10a,g02	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	
K07951	瘡	毛5巻11上40b,g13 四巻21.20a,g04 配巻21.10a,g02	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	
K08140	瘡	毛5巻11上40b,g13 四巻21.20a,g04 配巻21.10a,g02	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	×
K08228	瘡	毛5巻11上40b,g13 四巻21.20a,g04 配巻21.10a,g02	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	
K08281	瘡	毛5巻11上40b,g13 四巻21.20a,g04 配巻21.10a,g02	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	
K08379	瘡	毛5巻11上40b,g13 四巻21.20a,g04 配巻21.10a,g02	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	×
K08542	瘡	毛5巻11上40b,g13 四巻21.20a,g04 配巻21.10a,g02	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	×
K08593	瘡	毛5巻11上40b,g13 四巻21.20a,g04 配巻21.10a,g02	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	
K08649	失	毛5巻12上13a,g14 四巻23.10a,g05 配巻23.10a,g06	失	失	失	失	失	×
K08679	瘡	毛5巻12上13a,g14 四巻23.10a,g05 配巻23.10a,g06	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	禱	通融性
K07392	意	毛5巻10下12a,g12 四巻20.14a,g08 配巻20.11b,g12	意	意	意	意	意	×
K07408	魁	毛5巻10下12a,g13 四巻20.14a,g09 配巻20.12a,g14	魁	魁	魁	魁	魁	
K07412	恣	毛5巻10下12a,g17 四巻20.14a,g13 配巻20.12a,g12	恣	恣	恣	恣	恣	×
K07423	壓	毛5巻10下12a,g17 四巻20.14a,g13 配巻20.12a,g12	壓	壓	壓	壓	壓	×
K07436	急	毛5巻10下12a,g08 四巻20.14a,g09 配巻20.13a,g11	急	急	急	急	急	×
K07437	辨	毛5巻10下12a,g09 四巻20.14a,g10 配巻20.13a,g12	辨	辨	辨	辨	辨	×
K07449	忒	毛5巻10下14a,g07 四巻20.16a,g05 配巻20.13a,g09	忒	忒	忒	忒	忒	×
K07457	擬	毛5巻10下14a,g15 四巻20.17a,g03 配巻20.14a,g02	擬	擬	擬	擬	擬	×
K07470	卷	毛5巻10下14a,g12 四巻20.17a,g03 配巻20.14a,g15	卷	卷	卷	卷	卷	
K07476	恣	毛5巻10下14a,g01 四巻20.17a,g03 配巻20.14a,g04	恣	恣	恣	恣	恣	×
K07486	傲	毛5巻10下14a,g11 四巻20.17a,g03 配巻20.14a,g14	傲	傲	傲	傲	傲	×
K07501	氣	毛5巻10下12a,g11 四巻20.14a,g09 配巻20.13a,g15	氣	氣	氣	氣	氣	×
K07506	鬱	毛5巻10下12a,g18 四巻20.15a,g05 配巻20.13a,g05	鬱	鬱	鬱	鬱	鬱	×
K07539	悲	毛5巻10下14a,g16 四巻20.17a,g03 配巻20.14a,g05	悲	悲	悲	悲	悲	×
K07554	价	毛5巻10下17a,g12 四巻20.21a,g01 配巻20.17a,g05	价	价	价	价	价	×
K07581	恣, 恣	毛5巻10下17a,g05 四巻20.21a,g08 配巻20.17a,g12	恣	恣	恣	恣	恣	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	禱	通融性
K07047	齋	毛5巻10上15b,g14 四巻19.18a,g08 配巻19.15a,g14	齋	齋	齋	齋	齋	×
K07049	齋, 齋	毛5巻10上15b,g15 四巻19.18a,g09 配巻19.15a,g01	齋	齋	齋	齋	齋	×
K07066	齋, 齋	毛5巻10上16a,g16 四巻19.18a,g01 配巻19.16a,g05	齋	齋	齋	齋	齋	×
K07096	照	毛5巻10上15a,g01 四巻19.20a,g11 配巻19.17a,g04	照	照	照	照	照	
K07126	齋, 齋	毛5巻10上18a,g08 四巻19.21a,g08 配巻19.17b,g16	齋	齋	齋	齋	齋	×
K07128	齋	毛5巻10上18a,g11 四巻19.21a,g10 配巻19.18a,g01	齋	齋	齋	齋	齋	×
K07139	齋	毛5巻10上16a,g04 四巻19.22a,g05 配巻19.18a,g04	齋	齋	齋	齋	齋	×
K07157	齋	毛5巻10上20a,g01 四巻19.23a,g06 配巻19.19a,g01	齋	齋	齋	齋	齋	×
K07163	齋, 齋	毛5巻10上20a,g06 四巻19.23a,g01 配巻19.19a,g07	齋	齋	齋	齋	齋	×
K07193	蝕	毛5巻10下02a,g04 四巻19.21a,g06	蝕	蝕	蝕	蝕	蝕	×
K07210	載, 載	毛5巻10下06a,g03 四巻20.01a,g06 配巻20.01a,g06	載	載	載	載	載	×
K07235	夏	毛5巻10下04a,g06 四巻20.04a,g02 配巻20.03a,g02	夏	夏	夏	夏	夏	×
K07262	軟	毛5巻10下06a,g01 四巻20.06a,g05 配巻20.05a,g07	軟	軟	軟	軟	軟	×
K07306	頰	毛5巻10下08b,g13 四巻20.08a,g10 配巻20.08a,g06	頰	頰	頰	頰	頰	
K07342	懸	毛5巻10下10b,g05 四巻20.12a,g08 配巻20.10a,g03	懸	懸	懸	懸	懸	×
K07344	恣	毛5巻10下10b,g07 四巻20.12a,g10 配巻20.10a,g05	恣	恣	恣	恣	恣	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	連綴性
K09714	𦉑	毛5巻13下.02a.g02 四巻25.20a.g05 附巻25.13b.g17	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09722	𦉑	毛5巻13下.02b.g02 四巻25.20a.g05 附巻25.13b.g17	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	
K09732	𦉑	毛5巻13下.02a.g02 四巻25.20a.g05 附巻25.13b.g17	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09799	𦉑	毛5巻13下.07a.g02 四巻25.00b.g02 附巻25.02a.g01	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09916	𦉑	毛5巻13下.10a.g02 四巻25.06a.g05 附巻25.06b.g05	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K10017	𦉑	毛5巻13下.15a.g11 四巻27.05a.g01 附巻27.05b.g04	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K10042	𦉑	毛5巻13下.16b.g07 四巻25.12b.g02 附巻25.12c.g03	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K10130	𦉑	毛5巻14上.04a.g11 四巻27.05b.g01 附巻27.05c.g04	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	
K10382	𦉑	毛5巻14上.14a.g07 四巻25.04a.g05 附巻25.04b.g05	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K10480	𦉑	毛5巻14下.02a.g05 四巻25.02b.g01 附巻25.02c.g01	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K10580	𦉑	毛5巻14下.10a.g04 四巻25.10b.g04 附巻25.10c.g04	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K10650	𦉑	毛5巻14下.18a.g05 四巻28.17b.g05 附巻28.17c.g05	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K10710	𦉑	毛5巻14下.18b.g02 四巻28.20b.g10 附巻28.19b.g10	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	
K10718	𦉑	毛5巻14下.18b.g09 四巻28.24a.g06 附巻28.24b.g03	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	連綴性
K09386	𦉑	毛5巻13上.10b.g05 四巻25.07a.g09 附巻25.07b.g16	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09486	𦉑	毛5巻13上.10b.g07 四巻25.07a.g09 附巻25.07b.g16	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09531	𦉑	毛5巻13上.12a.g09 四巻25.11a.g12 附巻25.11b.g17	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09532	𦉑	毛5巻13上.12a.g09 四巻25.11a.g12 附巻25.11b.g17	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09540	𦉑	毛5巻13上.12b.g02 四巻25.10b.g06 附巻25.10c.g06	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09551	𦉑	毛5巻13上.12b.g03 四巻25.10b.g12 附巻25.11a.g03	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09556	𦉑	毛5巻13上.12b.g04 四巻25.11a.g04 附巻25.11b.g09	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09567	𦉑	毛5巻13上.12b.g06 四巻25.11b.g02 附巻25.11c.g02	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09576	𦉑	毛5巻13上.12b.g09 四巻25.11b.g11 附巻25.11c.g11	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09603	𦉑	毛5巻13上.14a.g04 四巻25.12b.g11 附巻25.12c.g03	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09612	𦉑	毛5巻13上.14b.g03 四巻25.12b.g12 附巻25.12c.g12	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09641	𦉑	毛5巻13上.16b.g09 四巻25.17a.g07 附巻25.17b.g05	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09671	𦉑	毛5巻13上.16b.g11 四巻25.18b.g02 附巻25.18c.g05	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09685	𦉑	毛5巻13上.01a.g04 四巻25.10a.g04 附巻25.10b.g04	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×

#	見出字	掲出箇所	毛5	四	汪	述	邪	連綴性
K08705	𦉑	毛5巻12上.14b.g13 四巻23.18b.g08 附巻23.15a.g09	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K08749	𦉑	毛5巻12上.16a.g07 四巻24.09a.g06 附巻24.09b.g06	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K08864	𦉑	毛5巻12下.04a.g04 四巻24.06a.g06 附巻24.04a.g12	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K08891	𦉑	毛5巻12下.04b.g14 四巻24.06b.g10 附巻24.06a.g11	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K08911	𦉑	毛5巻12下.05b.g05 四巻24.07a.g08 附巻24.06a.g03	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K08955	𦉑	毛5巻12下.07a.g06 四巻24.09a.g06 附巻24.07b.g02	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09011	𦉑	毛5巻12下.08a.g01 四巻24.11b.g04 附巻24.10b.g15	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	
K09017	𦉑	毛5巻12下.08a.g07 四巻24.11b.g10 附巻24.09b.g06	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09068	𦉑	毛5巻12下.12b.g04 四巻24.13b.g06 附巻24.12b.g09	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	
K09082	𦉑	毛5巻12下.18a.g05 四巻24.16a.g09 附巻24.13a.g10	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09174	𦉑	毛5巻12下.18b.g12 四巻24.22b.g12 附巻24.15b.g09	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09243	𦉑	毛5巻13上.02a.g06 四巻25.02a.g05 附巻25.01b.g17	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09345	𦉑	毛5巻13上.02a.g11 四巻25.05a.g08 附巻25.04b.g09	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×
K09369	𦉑	毛5巻13上.06a.g07 四巻25.06a.g07 附巻25.06a.g11	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	𦉑	×